



昭和二十一年三月十日

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

地方世話部長

留守業務部長殿
歸還軍人ニ依ル首座

追而

本件ハ左記現認者、中出ニ依リ調製シタルモノニ
報等處理シテラサルニ付爲念

諸君ニタルモノニシテ當部ニ於テハ公

所屬部隊	死	昭和 五月 一日	比島退還	威丸九七部隊
場所	七	不グロス島 シライ山中 荒神山 於テ	腹部貫通 銃創ニテ 戦死	右現認ス
氏名	田中 龍雄 兵衛 官弁候	現役 曹長	瓶塞頭 二等給	母 右全ジ
本籍地	留付但當有現其部			

現任所
所屬部隊
此係

陸軍省印

21.2.23

第4210
付受

4-11

本籍地

伍長

所屬部隊 固有名 船舶工兵第二五聯隊

通稱號 曉第二〇九〇部隊

右は昭和三十年五月一日「マリア」のたわ北島「バインバ」野戦病院に入院
加療中の處昭和三十年五月三十日午前四時〇分遂に戦病死した
遺骨は現地に埋葬した

曉第二〇九〇部隊

上等兵

1-12

現認證明書

本籍地

所屬部隊

南方中一陸軍病院

(通稱部)

(比島威中一六一部隊)

徵集

年昭一五年

(連級年月日)

陸軍衛生上兵

(二〇年四月一日)

死亡年月日

比島威中一〇年

五月一日

死亡場所

比島威中一〇年五月一日

死亡原因

(傷病名) 戦病死

(セナリ病)

死亡状況

戦中アムルセナリ病に罹り身弱衰弱に依り死す

右に現認

證明する

昭和二年一月一日

現認者

所屬部隊

(通稱部)

南方中一

陸軍病院

(比島威中一六一部隊)

現任所

日職官等

級氏名

(中)

分隊長

陸軍衛生任長

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 合 第101 陸軍師団
- 一、戦死年月日 昭和21年 11月 1日
- 一、死歿場所 比叻バリスバ
- 一、死亡証分發事由 戦死(マラーナ)
- 一、死歿年月日時 昭和21年 11月 1日 午前 時
- 一、死歿者本籍地留守遺書者

右確認(證明)ス

昭和21年 11月 1日

元所属部隊名 合 第101 陸軍師団

現住所

元官等級

氏名 印

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲ
クワシク分知ラセ下サシ

宛 先

地方世話部慰恤係

證明書

隊

兵和

陸軍

1. 1. 1.

齊

范氏

一
日
年

10

天

以爲無礙

卷之三

名
印

五：明

宛先

1997

後、二、三

...

854

⑤

陸軍

現認(事實)證明書

本籍

部隊名 独立歩五四五大隊 上等兵

一死之年月日 昭和三年五月一日

一死之場所 比島ハントク道ニ一折

一死之正合 戦死

一當時ノ状況 ニ一折陣地ヲ備中敵砲彈ヲ腹部ヲヤ

ラレ倒ル

右ノ通証明ス

昭和三年五月三十日

元独立歩五四五大隊 陸軍上等兵

印

死亡確認證明書

一、死亡者所屬部隊名 固有名才十七航空通信隊

一、徵集年(任官年) 役満予兵補航 昭和十五年徵集

一、死亡者本籍地

一、官等級(發令年月日) 死亡前陸軍軍曹(發令年月日照)

一、氏名 年 年 月 月 日 日 死亡後降直

一、死亡年月日時刻死亡區分 昭和二十年五月二日午時 分 秒 此

一、死亡場所 ルソン島 サラサク峠

一、死亡理由(受傷病死に在りては傷病名及び受傷年月日入院年月日及び病後の状況) 才一線にて移動中戦死

一、遺骨遺留品の状況 ナシ

右確認證明す

元所屬部隊 才十七航空通信隊

現任

元官等級氏名 曹長

復員年月日 上陸地

昭和二十年二月 名古屋 七階

印

12-12

現認書

本籍地

部隊名

官等代名

死亡年月日

死亡場所

死亡理由

死亡区分

右現認

現認者

本籍地

部隊名

官等代名

昇十六航立用

陸軍中尉

21.2.2003

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而
本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念

所屬部隊	北志城道	昭和	五月	二日	盛丸九七部隊
死	場所	場所	場所	場所	場所
七	事	事由	腹部貫通	飲創テ戦	丸
秘	番號	秘	現役	現役	現役
役種	役種	役種	軍需	軍需	軍需
官子級	官子級	官子級	官子級	官子級	官子級
氏	氏	氏	氏	氏	氏
名	名	名	名	名	名
本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍
籍	籍	籍	籍	籍	籍
地	地	地	地	地	地

右現認

魂位所

卷之六

北山先生集

卷之四

1997

一、姓名

右同

二、職別

以系...

...

...

三、...

...

...

...

四、...

...

五、...

...

六、...

...

七、...

...

八、...

...

九、...

...

十、...

...

...

...

...

...

死亡者調查表

昭和三十三年十一月

十二、

臨江府志

姓名		職名		階級		出身		備考	
山田	太郎	大尉	陸軍	東京	明治	20	5	10	死亡
田中	次郎	中尉	陸軍	大阪	明治	18	12	15	死亡
佐藤	三郎	少尉	陸軍	京都	明治	15	8	12	死亡
鈴木	一郎	大尉	陸軍	神戶	明治	22	3	18	死亡
高橋	五郎	中尉	陸軍	名古屋	明治	19	7	14	死亡
伊藤	七郎	少尉	陸軍	横濱	明治	16	11	13	死亡
渡辺	九郎	大尉	陸軍	仙台	明治	21	6	17	死亡
山本	十郎	中尉	陸軍	福岡	明治	17	9	11	死亡
中村	十一郎	少尉	陸軍	金沢	明治	14	4	10	死亡
小林	十二郎	大尉	陸軍	新潟	明治	23	2	19	死亡
高木	十三郎	中尉	陸軍	富山	明治	18	10	16	死亡
松本	十四郎	少尉	陸軍	山梨	明治	15	5	12	死亡
石川	十五郎	大尉	陸軍	長野	明治	24	1	20	死亡
山口	十六郎	中尉	陸軍	岐阜	明治	19	12	15	死亡
北川	十七郎	少尉	陸軍	愛知	明治	16	13	14	死亡
田村	十八郎	大尉	陸軍	三重	明治	25	11	21	死亡
小川	十九郎	中尉	陸軍	滋賀	明治	20	14	18	死亡
小島	二十郎	少尉	陸軍	京都府	明治	17	15	17	死亡
小島	二十一郎	大尉	陸軍	大阪府	明治	26	16	22	死亡
小島	二十二郎	中尉	陸軍	兵庫県	明治	21	17	23	死亡
小島	二十三郎	少尉	陸軍	徳島県	明治	18	18	24	死亡
小島	二十四郎	大尉	陸軍	香川県	明治	27	19	25	死亡
小島	二十五郎	中尉	陸軍	高松市	明治	22	20	26	死亡
小島	二十六郎	少尉	陸軍	高松市	明治	19	21	27	死亡
小島	二十七郎	大尉	陸軍	高松市	明治	28	22	28	死亡
小島	二十八郎	中尉	陸軍	高松市	明治	23	23	29	死亡
小島	二十九郎	少尉	陸軍	高松市	明治	20	24	30	死亡
小島	三十郎	大尉	陸軍	高松市	明治	29	25	31	死亡

◎本表中央印の欄以外は第一世話係にて記入すると
◎記帳上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記帳上の注意をよく読んでから記入の可)
◎不備事項中判明しあるものは各班にて未済すること

死
亡者
魂
認
舊

[illegible]

の通り現認する

宣統三年十一月

所屬前敵特設者4
核定砲隊

宣統元年九月

隊中一第属国機時臨				國有通称	部所屬
隊部口口四成				兵校任職	隊属
聯			昭八	種座年	徵集年
	死後	兵等上	兵前	級等望	望(旧月年令給)
				名氏	氏(ナカリフ)
				年月日生	年月日生
				本籍地	
父	経極氏名	本籍に在り		現任所	官等担当者
	氏名	推定		年月日	死亡状況
死因	死因	野戦病院		場所	遺留品
死因	死因	野戦病院		事由	
				遺留品	

死亡確認書

昭和五年二月三日
 旧河内郡
 旧豊守隊
 死者上欄係
 現住所
 氏名

臨時機関銃第中隊
 兵長
 戦友

現認書

本籍地

部隊名

官算代名

死亡年月日 昭和二十一年五月二日

死亡場所 小島島嶼

死亡理由 第一線中負傷後死亡

死亡区分 戦死

右現認入

現認者

本籍地

部隊名

官算代名

第七航空通信隊

陸軍少尉

現認書

本籍地

部隊名

官軍姓名

死亡年月日

死亡場所

死亡理由

死亡区分

右現認

20.5.3

立島苦女峠

第一線中迫撃砲陣地7胸受

戦死

現認者

本籍地

部隊名

官軍代名

第十七航空団信隊

陸軍十尉

戰死證明書



一、戰死者本籍地

戶主名續柄 戶主

父

氏名

長男

年 月 日生

二、所屬

固有部隊名
通稱部隊號

比島

派遣

威

第八九六部隊

隊

三、戰死者徵集年

昭和五年

「役種現役」

兵種

步兵

死亡前官等級

陸軍中尉

在官進級

年月日

昭和

年

月

日

四、戰死年月日時刻及場所

昭和五年五月

午前

五時頃

三東北

早料

山

鉢巻山

山

山

山

山

山

五、戰死現認ノ程度

甲

(確認)

六、遺骨歸還ノ有無

無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

昭和五年五月二日夜

突入

大敵

戦死

隊

五十

名

鉢巻山

山

山

山

山

突入大敵戦死

隊

五十

名

鉢巻山

山

山

山

山

山

突入大敵戦死

隊

五十

名

鉢巻山

山

山

山

山

山

16-13

八、死亡區分戦死

事由

發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者屬シテ依リ申立カ、部隊殘務整理班）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地（幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）

三、遺族ノ現住所

戦死者トノ續柄全女

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三十一年十一月十五日

證明者住所

戦死者トノ關係
所屬部隊名

同隊兵
威一八九一六部隊
兵種防空兵 官等級陸軍 元陸軍兵長

氏名

市町村長證明

昭和三十一年十一月十五日
市町村長 証明
昭和三十一年十一月十五日

印

16-14

飛鷹六十士戦隊

比高海達威一九〇四

昭十八 昭十九 昭二十
生前 死後 魚善上

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

昭二〇 昭二一 昭二二
比高海達威一九〇四

昭二〇 昭二一 昭二二
比高海達威一九〇四

昭二〇 昭二一 昭二二
比高海達威一九〇四

昭二〇 昭二一 昭二二
比高海達威一九〇四

昭二〇 昭二一 昭二二
比高海達威一九〇四

現認證明書

比島派遣隊 第...部隊

陸軍上等兵

右者昭和十一年五月三日、比島に於て、
胸部を撓弾一發に斃死（戦病死）と見ゆ、現認ス
現認

昭和十一年三月六日

現認者元成 第...部隊 陸軍伍長

現住所

氏名

死亡現認證明書

死		亡		現認事由		現認年月日		現認場所		記載上注意	
所屬部隊名	官等職氏名	籍地	死亡年月日	死亡区分	死亡場所	傷病名	遺体遺物状況	現認事由	現認年月日	現認場所	官等職氏名
威一七六五七部隊	陸軍上等兵		昭和二十年五月二日	戦死	ルリ上島バラヤン地区の高原		戦中より遺骨遺留品等なし	右の通り證明する。昭和二十年五月二日	威一七六五七部隊	陸軍上等兵	

本證明書は三軒作製する。死に付いた者の遺体遺物等が現認された場合は、現認事由は「戦死」または「戦中死」と記載する。死に付いた者の遺体遺物等が現認されなかった場合は、現認事由は「戦死」または「戦中死」と記載する。死に付いた者の遺体遺物等が現認されなかった場合は、現認事由は「戦死」または「戦中死」と記載する。

19-10

西曆一九二九年五月九日製

比島中央西海岸ハル市外

五月四日

紙

明

1

勝四隊 五四小隊に合 出長 出尉 指揮する に属す。クラークより五五と作

行由(新集)金瓶梅
元卒于三十三歲
小兒合身口大十
四寸許身長四尺
許

く事ハ各ハ其事ヲモユルヒミ名ヒニ分レ
 陳ヒテモ其事次ノ曰
 初則攻撃ノ兵器ヲ
 昔エミモ小生

[illegible]

第二航測隊跡澤野路

是

陳丁氏

一死一生一死一生

一に必ず捺印する

一、ダテ捺印する。

872

死

三子林

死亡年月日 昭和二十年九月四日
 死亡場所 比島ササキ峠
 死亡理由 第一隊が敵中爆弾ニリ腹部破片傷
 死亡区分 戦死
 右現認入

現認書

本籍地

部隊名

官等氏名

軍歴

通信隊

現認者

本籍地

部隊名

官等氏名

第一航空通信隊

陸軍中尉



69-11

[illegible]

依大場行飛四十分					
隊部西一一九地寶					
飛行		現		昭一六	
				上(大)	
父		同		現任所	
		上		斗目色	
戦死		昭二〇五、女 2000		比島新達山	
ムリク		ガバオ市		鳥歸遠	
傷病名				事因	
シナ					

此碑乃舊址所遺
石名曰關保

翼九一西部隊
計伍長

10-7-2

古石

五

晉書

死

外
地
到
年

	將	春
F	S.	五

其期年

新水

國
定
理
甲
可
飛

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

新

3

所岳郭隊

現任所

官
等
親

并

Journal of Management Education

步兵第十七聯隊

現任所

代官等
名初陸軍省長

卷之六

4811

17-544

出如

五、四、三、二、一

此為 派遣威 第一二三部隊

四、戰死年月日時及場所 經報 二十五年五月四日 午 前 九 時 又 在 敵 方 之 砲 台 內 被 炸 死

五、戰死現認ノ程度

六、遺骨歸還、有無

死當時、狀況、概要

亡 國 分 死 事由 全身 患 病 年月日 昭和 年 月 日

ノ他 上陸軍は於テ死者一億ヲ中立カニ隊ヲ護リテ西遊、市立兵ナレバ上陸年月日及上陸地

遺族、現在所

戰死者卜、續柄

父 氏 名

右ノ通リ戰死セラレタルエトテ證明候也

昭和二十一年一月三十一日

證明者住所

戰死者と關係

所屬部隊名(通名) 機動隊 第一聯隊 (近衛) 重務 第三 野戰

兵種 騎兵 官等 級陸軍 中

出 名

市町村長盟明箇所

現認證明書

一、本籍地

二、戸籍續柄氏名

三、養子

三、兵種

昭和二十年四月四日午前六時五分

四、戰時當時官等

陸軍一等兵

五、所屬部隊名

比島派遣

兵團

部隊

隊

六、戰死年月日

昭和二十年五月四日午前六時五分

七、戰死場所

比島ルソン島、小陣地ニ於テ

右ニ通り戦死シタルコトヲ現認候也

昭和二十年三月五日

元比島派遣

兵團

部隊

ヨリ復員

故實戦友陸軍一等兵

住所



本館蔵

[Redacted]

史書

陸奥

[Redacted]

竹原郡

南方

郡

（第九）

（第九）

[Redacted]

右ハ昭和五年五月廿日此島を和北郡ルサンカヲラン附

道ニ添テ島性ナリメノミテ戦後ニハニト琉球大

陸奥

[Redacted]

元南才事見テ教録外日誌筆録

[Redacted]

陸奥郡史
昭和五年五月廿日此島を和北郡ルサンカヲラン附
道ニ添テ島性ナリメノミテ戦後ニハニト琉球大
陸奥

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日
地方世話部

所屬部隊	固有姓名	比島派遣隊	通稱	比島派遣隊
年集	昭和	昭和	昭和	昭和
役	兵	兵	兵	兵
死亡年月日時	昭和三十年五月五日	昭和三十年五月五日	昭和三十年五月五日	昭和三十年五月五日
死亡時間	午前	午前	午前	午前
死亡場所	比島	比島	比島	比島
傷病名	戦死	戦死	戦死	戦死
准士官以上 任官年月日				
遺留品	遺骨	遺骨	遺骨	遺骨
の者無	無	無	無	無

有證明候也

昭和三十一年九月二日

所屬部隊
現任所

官等職氏名印

殿

元陸軍上等兵

比島派遣隊九〇四部隊

現認證明書

本籍地

所屬部隊 國名 昭和二十一年五月五日

(通稱) 昭和二十一年五月五日

徵集年

官等級氏名 陸軍上等兵

(追級年月日) 昭和二十一年五月五日

死之年月日 昭和二十一年五月五日

死之場所 昭和二十一年五月五日

死之原因 傷病(戰死)

死之状況 頭部重傷

現認證明書

昭和二十一年五月五日 現認者 所屬部隊 (通稱) 昭和二十一年五月五日

現任所

旧機官等級氏名 (印) 昭和二十一年五月五日

死亡者見送

死者姓名
氏名
年次
月日
場所
備考

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

昭和二十一年
五月
十日

昭和二十一年
五月
十日

昭和二十一年
五月
十日

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

昭和二十一年
五月
十日

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

昭和二十一年
五月
十日

昭和二十一年
五月
十日
東京市
豊島区
荒川町
一丁目
一丁目
一丁目

01-10

氏名

年 月 日生

必致派遣

年任官進級昭和 年 月 日

昭和五年五月五日 二三番 行山 行康 行六 行一 印

戰死惟定

72

~~14-15-17-18~~

1. The first step is to identify the problem or question that needs to be answered. This involves understanding the context and the specific requirements of the task.

發病年月日 昭和 年 月 日

「者は、皆」整理規定あり、又

戰死者上，橫柄

氏 名

ルナルコトヲ

昭和 年 月 日

兵種 直等 陸軍 步兵 步兵 步兵

氏名

市町村長醒明箇所

我

续前

554

一、死者本籍地

[REDACTED]

出 版

年 月 日生

工兵第廿聯隊第一中隊
兵分派遣隊 第五區五二部

八年「役權」兵種工兵死亡前官等級陸軍一等任官進級昭和 年 月 日

癸卯年三月三日 午前十時 八下時 (北平)

度 成 利 隆 一 同 保 長 三

有無

概要

一戰陣地より遠く強敵、側射する戦況

事由 遊藝會 發病年月日 昭和 年 月 日

上陸地ニ於テ死ニ者屍ニ依テ甲立カ、部隊整務班(班) 申立請テレバ上陸年月日及上陸地

[REDACTED]

氏名

昭和三年十一月十五日

戰死者之關係

業主田五部役

氏名

何嘗不與我共樂之也

印

戦死確認証明書

一 戦死者氏名

一 本籍地

一 部隊名 盛興一〇六九三部隊

一 死場所 北島ネグロス島西ネグロス州照國台

一 死年月日 昭和二十年五月五日

一 死之原因 迫撃砲弾破片創

右、者昭和二十年五月五日ネグロス島照國台ニ於テ
敵ト交戦中迫撃砲弾、麻達ニ撃死セリ。當時現場
ニ在リテ死ニ確認シタル者トシテ右、事實ヲ證明ス。

昭和二十二年一月二十五日

民國十一年一月一日

887

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名続柄

戸主

氏名

年 月 日生

二、所属部隊名

比島派遣隊

第 大隊

三、戦死者徴集年

大 年

役種

補給兵

兵

死前官等級

陸軍中士

在任

昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和 年 月 日

時刻

場所

五、戦死現認ノ程度

確実

六、遺骨歸還ノ有無

有

七、戦死當時ノ状況

戦死當時ノ状況

八、死亡原因

戦死

九、其ノ他

其ノ他

二、遺族ノ現住所

遺族ノ現住所

戦死者ノ続柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

証明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

兵種

官等級

陸軍中士

氏名

市町村長證明箇所

印

陸海邦 死亡現狀(確)認証明書

者供提料資		料 資 の 者 亡 死											
法方たつ知を亡死		処遺 品理の	遺骸の 処理及び	元 諸 亡 死				区 分	現 守 住 所 者	本 籍 地	部 所 隊 属		
死亡と見えて一緒に葬られていた				死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所				死亡日時	称 通 有 固	
関係のと者亡死				死亡		砲弾破片創	女バオ市郊外より山中	二十年五月六日	内 容			属所部細	
友人 知人				*	*	*	*	*	確 度			面局地区 ※	
隊部属所		死亡当時の状況及び参考資料								種 兵 種 役			
所住現										級 階		名 氏	
名氏級階										統柄(長田力)		年 月 日生	
												女 男	

裏面記載上の注意を見て書いて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません。又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい。)

現 實 證 明

本 所 屬 部 隊 第 十 航 空 情 報 隊
自 氏 名 姓 名 兵

年 月 日

役 種、兵 種、年 次
死 亡 年 月 日 昭和二十年五月七日 確 度 年 甲 月 日生

同 場 ハ マニラ 東方 約 六 十 料 ノ 亦 降 地

同 處 戦 病 死

死 亡 原 因 又 ハ 病 死
及 現 認 由 (發 生 年 月 日 等) マニラ 突 病 昭和二十年四月八日
庫 地 展 進 中 五 月 七 日 朝 病 死 埋 葬 ス

遺 骨 の 有 無

遺 族 現 住 處

右 相 遺 無 キ、ヲ 證 明 ス
昭和二十年一月二十五日

第 十 航 空 情 報 隊
姓 名 陸 軍 上 等 兵

死者者確認（證明）書

一 死歿者所屬部隊名 固有名 比馬次連隊 第三隊 行場大隊
通稱號

一 徵集年、役種、兵種 昭和九年徵集 隊補役 步兵

一 死歿者本籍地

一 官等、級 死前陸軍兵長 死後陸軍伍長

一 氏名、生年月日 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一 死年月日時刻 死區分 昭和九年五月七日 自午 時 分

一 死亡場所 ミニタナハニ 行場北

一 死亡事由 敵機彈胸 部命中のため戦死

一 遺骨状況 不明

比馬次連隊一五三九部隊
死後遺体は、行場北の森にあり、戦死
通称は、比馬次連隊一五三九部隊

右確認（證明）書

死後遺体は、行場北の森にあり、戦死

死後遺体は、行場北の森にあり、戦死

死後遺体は、行場北の森にあり、戦死

死後遺体は、行場北の森にあり、戦死

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 第四航空軍 獨立第七機用砲隊

官氏名 陸軍 陸軍上士 兵 (死亡前)

死亡場所 アゴス

死亡區分 病死

死亡日時 昭和二十年五月七日 十三時三十分

死亡傷(病)名 マラリヤ

留守擔當者住所 現住所 同上

遺骸氏名 事

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所

元所屬官氏名 第四航空軍 獨立第七機用砲隊 兵

昭宗二十一年十一月三日

卷之九 四十一 (第 一 號)

○本天守殿の講以外には第一世経歴を記入すること
 ○記載上の注意並に歴代稱は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)
 ○不備事項を判明しあるものは各班にて未書すること

課長

係長

主任

主任

新印

(課別)

戦歿者確認証明書

固有部隊名

通稱

一五九二

死亡前階級

死亡後階級

徴集年

役種

兵種

年 月 日生

本籍地

留守地

現住氏名

死亡月日

場所事由

遺骨

遺留品

現住所

製造部

製造部

製造部

右の者昭和20年5月8日 時 分 山形に於て

新入に依りおみせしことを確認す

3. 戦壕書類

4. その他

理認

依認

印

10-11

號

戰時死者生死不明者認定資料送付關係件又甚

昭和二十年二月五日

地方自治部部長

留守業務部長官殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

進而 本件ハ昭二二二五一號第三〇號第三條ニ基キ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニテ當部ニ於テハ公報未處理ナルモノニ付爲念

所屬部隊		死		亡		氏名	本籍地
年月日時	場所	所事	由	役種官等	役種官等		
昭和二十二年二月五日	冀州	冀州	戰死	自來砲彈房	戰死	右現認者	冀州
昭和二十二年二月五日	冀州	冀州	戰死	自來砲彈房	戰死	右現認者	冀州

現任 所屬部隊 比島派遣隊第一五九二部隊第陸行場中隊

官等 姓名 印

留守業務部

5-11

21.2.14

現認證明書

比島派遣独歩兵第一六五三部隊第二中隊

陸軍衛生兵長

右者昭和二十年五月九日比島タロバンニ於テ

マリアナニ依リ戦死(戦病死)セル事ヲ現認ス

昭和二十年三月 日

現認者元 第六五三部隊一中隊陸軍 階級 陸軍衛生兵長

現住所

氏名



死亡現認証明書

昭和 年 月 日

所屬部隊	死亡場所
國有自衛隊 歩兵三十五大	比島 ミンダナオ島
通稱 番号 一〇六四六	タバオ市 タモン

本籍地	死亡年月日
[Redacted]	昭和 20 年 5 月 7 日 16 時

死亡前階級	死亡区分
陸軍一等兵	戦死

氏名	受傷箇所
[Redacted]	手 指 環 破 片 創

遺品	備考
[Redacted]	現認年月日 昭和 20 年 5 月 16 日

ミンタラ地方に在る米軍陣地攻撃の際手榴弾の破片を受けり戦死す

右現認す

現認事項	九所屬部隊
死亡當時の状況	國有自衛隊 歩兵三十五大
通稱 番号 一〇六四六	

階級	本籍地
正伍	[Redacted]

証人	現任所
故人との関係	[Redacted]

氏名	階級
[Redacted]	兵長

意注の上載記

意注に記載例がある

證明書

死亡者調査表

昭和二十二年十一月五日

年 14 月 3 日
 所 兵 兵
 職 兵 兵
 年 22 年 11 月 5 日
 役 兵 兵
 氏 兵 兵
 名 兵 兵
 所 兵 兵
 局 兵 兵
 兵 兵 兵

死亡年月日時 20 年 11 月 9 日 時 分
 死亡場所 兵 兵
 死亡原因 兵 兵
 死亡診断書の提出 兵 兵

自 兵 兵
 兵 兵 兵
 兵 兵 兵

見所及経路の手入料費
 兵 兵 兵

現 兵 兵
 官 兵 兵
 兵 兵 兵

決 兵 兵
 兵 兵 兵

○○本表は、本署の管内に於ける死亡者について記入すること。
 ○○記載上の注意は、本署の管内に於ける死亡者について記入すること。
 ○○記載上の注意は、本署の管内に於ける死亡者について記入すること。

戦歿者確認(證明)書

一、部隊名(通稱) 〇〇部隊

一、官 〇〇

一、氏名 〇〇

一、死歿場所 〇〇

一、死亡区分 〇〇

一、死歿年月日時 〇〇

一、死歿者本籍地留守担当者 〇〇

役種 〇〇

兵種 〇〇

死歿後 〇〇

死歿後 〇〇

死歿後 〇〇

死歿後 〇〇

右確認(證明)ス

昭和〇〇年五月五日

元所屬部隊名

現住所

元官等級

氏名印

註 死亡理由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナクテハソノ前後ヲクワシクオ知フセ下サイ

宛 光

地方世話部 〇〇

此島之現狀

現籍

此之現狀

軍政代末之

陸軍航校兵伍長

部族名

比島津連島八月八日五五部族

除

(第十編五部族)

此之現狀

昭和二十五年五月五日

此之現狀

比島津連島八月八日五五部族

就友

本籍地

現職證明書

所屬部隊成中九九三八

階級 陸軍中尉氏名

死亡年月日 昭和二十年五月十日廿一時 分

死亡場所 比島ササノサウ峠第一峰

死亡區分 頭部貫通銃創

死因 銃創

死亡當時状況

ササノサウ峠、要方第一峰、在り敵隊、激斗中後方部隊
より射撃場二列着方、第一線二行カミ下線中、死體見
可通、途中二頭部、自前小隊陣中貫通、二三小隊死
亡現認

昭和二十二年三月八日

現認者

現住所

元所屬部隊成中九九三八
階級中尉氏名

6-12

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 第四航空軍 独立第七機甲隊

官氏名 陸軍陸軍一ト夫 (死亡前)

死亡場所 バグンバヤン

死亡區分 痲死

死亡日時 昭和二十一年五月十日 廿四時

死亡傷(病)名 マラリヤ疾

留守擔當者住所 現在新ニ同ジ

續柄氏名 妻

右證明する

昭和二十二年 月 日

通關者住所

元所屬官氏名

第四航空軍 独立第七機甲隊 隊付

16-11

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明

昭和二十二年

月 日

現認者住所

元所屬官氏名

方四航空軍部独立方七機團服役

在任中

方四航空軍部独立方七機團服役

官氏名 陸軍陸軍一ト兵(死亡前)

死亡場所 カナダマリヤ

死亡區分 戦死

死亡日時 昭和二十年五月十日十三日

死亡傷(病)名 胸部貫通

留守擔當者住所 現住所ニ同シ

續柄氏名 妻

右證明する

14-11

現 明 書

比島派遣 曉 第一六四三部隊 二中隊

別名 外傳

陸軍上等兵

昭和二十年五月十日 比島ルン島ニ於テ

挺身斬込 二依リ戦死(戦死)セルコトヲ現

認ス

昭和二十年十一月十一日

現認者元 曉 第一六四三部隊 隊 陸軍上等兵

現任所

氏 名

8-11

三都

死亡報告證明書

調製年月日 昭和三十三年八月八日

本籍地

作部部隊(通称)

死亡年月日

死亡区分

死亡時の状況及所見

平歩

昭和三十三年四月十日 死に場所

死に事由

戦死

昭和三十三年十月十日

北サント上陸時部隊ノ撤退甚シク

体位目増シシ悪化ス然レドモ士氣旺盛ニシテ再々ノ戦斗

ニ果テテ戦死ス終戦當時ノ生存者少ク状況ヲ悪化故ニ

死に場所

死に事由

死に状況及所見

死に年月日

死に区分

死に時の状況及所見

3-11

[illegible]

現認證明書

本籍地

所屬部隊

官氏名

年 月 日生

一役種、兵種、年次

一死亡年月日時

一同一場所

一同一区

一死因

一遺骨の有無

一遺族現住所

一遺族氏名

昭和三年三月一日

現認者

本籍

大原成五三四三

死亡者履歴	年月日	氏名	役種	兵種	年次
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910
死亡	1910/1/1	鈴木 一郎	歩兵	歩兵	1910

1931

鬼譯(事實)證明書

本籍地

所屬部座 固有 有名

成年

抗 菌

氏 酒

紅樓夢

宣統(昭和)三年五月十

氏名(組合員)

年 月 日 生

死亡年月日時分 昭和二十年五月十一日午前十一時 分 頃

二、死亡區分及傷病名

三、死亡場所

四、死亡状态

五、祖骨及遺留品の有

长、无三四十名幼猴

右の通り相違な事を證明する

昭和二十年六月五日 元府府部陸(國有名)威 天 印 漢 字 少 年 會 館

(附錄八)

現住所

色職官等氏名 王 侯 公 卿 大夫 士 庶 民 賤

二、死亡基本賭博

一 強中強富者の

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十二年七月十一日

現認證明書

比島派遣組第七二部隊 隊

陸軍一等兵

右者昭和三十年五月十日比島に於て

マリアナに依り戦死(戦病死)セルコトヲ現

認ス

昭和三十年五月十七日

現認者元組第七二部隊 隊 陸軍階級

現在所
氏名

現認證明書

比島派遣組第七二部隊 隊

陸軍一等兵

右者昭和三十年五月十日比島に於て

マリアナに依り戦死(戦病死)セルコトヲ現

認ス

昭和三十年五月十七日

現認者元組第七二部隊 隊 陸軍階級

現在所
氏名

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱) 〇〇〇〇〇〇〇
- 一、徴集年 〇〇年 〇月 〇日 役種 現任 兵種 〇〇
- 一、官等(死歿前) 〇〇 (死歿後)
- 一、氏名 〇〇
- 一、死歿場所 〇〇
- 一、死亡區分(事由) 〇〇
- 一、死歿年月日時 昭和〇〇年〇月〇日 〇時
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 〇〇

右確認(證明)ス

昭和〇〇年〇月〇日

元所屬部隊名 〇〇〇〇〇〇

現住所 〇〇

元官等 〇〇

氏名印 〇〇

註 死亡事由、場所ハナルベククソシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲクソシク告知ラセ下サイ

宛 先

地方世話部慰恤係

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿場所(死歿地名) (通稱) 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
- 一、死歿年(昭和) 〇〇年 〇〇月 〇〇日
- 一、死歿原因(死歿理由) 〇〇〇〇〇 (死歿後)
- 一、氏名 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
- 一、死歿場所 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
- 一、死亡原因(死歿理由) 〇〇〇〇〇
- 一、死歿年月日時 昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇時
- 一、死歿者本籍地(住所) 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

右確認(證明)ス

昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

元所屬部(名) 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

現住所 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

元官等級 〇〇〇 〇〇〇

氏名印 〇〇〇 〇〇〇

註 死亡理由(場所) ハナニシタス

タツレタオ知ラセ下リ

地 方

地方世話部慰恤係

昭和二十一年 月 日 第 號

地方世話部 死亡者 認定票

昭和二十一年 月 日 製
留 守 業 務 課 課長 印

所屬部隊名 獨歩上陸隊通信隊 通稱名 泉五三四 隊

年集徴 昭 五 種 役 國 種 兵 歩 級等官 前亡死 一 後亡死 上 名 氏 鈴鹿 平 月 日生

死亡年月日時 昭 二 〇 五 一 〇 死亡場所 鎮部貫通 銃創

死 亡 區 分 戰 死 傷 病 名 氏 名 無 氏 名 無

遺骨状況 現地理葬 無

右現認す

元島五三四部隊

印

決 判	路經手入ノ料費及料資	在調定	留 養	現 住 所	氏 名	名 籍 所 見	ス 載 胎	ス 管 保	消 滅	シ 消 滅	停 年 名 簿 頁	認 定 進 級	告 知 記 録	印 檢 点



948

未

昭和二十二年

6月

23日

第

昭和二十二年

月

日

製

部

製

綱

死亡者調査表

部	課	科	長	連	帶	者
所	署	隊	固	有	名	マ
高	新	北	日	令	補	補
成	一	ス	セ			
留	守	管	務	局		
地	方	世	話			
部						
製						
綱						
年	集	徴				
※	昭	和				
種						
※	系					
和						
高						
官						
死						
時						
の						
官						
上						
死						
後						
氏						
名						
※						
年						
月						
日						
生						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						
年						
月						
日						
死						

昭和二十二年十月十日 死亡者調査表

死亡者調査表

昭和二十二年十月十日

名 姓

所 属 部 隊 國 有 名 義 隊 威 田 一 四 所 属 部 隊 比 志 部

昭 14 予 野 砲 級 官 死亡時の官 小 尉 後 亡 死 伍 兵 不 詳

本 籍 地 所 同 妻 石

留 守 現 在 所 同

物 質 現 在 所 妻

死亡年月日 昭和二十二年十月十日

死亡場所 分 甲 死亡場所 山ノ下

死亡原因 山ノ下 山ノ下 山ノ下

死亡直前の状況 山ノ下 山ノ下 山ノ下

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

右 現 認 認 認

本表中の注記の欄以外に第一世係に記入すること
 記帳上の注意並に原簿は裏面にあり(記帳上の注意をよく読んでから記入の事)
 不備事項中判明しあるものは各班にて朱書きすること

未 認 認 認

無 有 第 122

死亡者名 威 田 一 四

受 付 部 隊

公 報 部 隊

將雙河

三

民生報第一號

ॐ

口生

1

1

東方雜誌	了今否	計	55
旅創	年	月	日
	20	年	5
		月	10
		日	
	2		2

+

公

名 著

戰犯型

6

避世

○本表中癸卯の欄以外は第一世簡課にて記入すること
○記載上の注意並に履歷欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）
○不備事項中に判明しあるものは各姓にて朱書すること

24

104-10

921

沈加

氏名

年 月 日生

元陽

第五期 部陸

四、戰死年月日時刻及場所 昭和五年十月十日 藤中郡石川村

五、戰死現體ノ程度在()小隊長ヲ直接報告セシム

六、遺骨歸還，有無

七、戰死當時，狀況，概要

八、死亡區分

[illegible]

10. 遺族の現住所

戲死者上箱柄父

出知

右ノ通り戰死セラレタルコトニ證明候也

昭和二十年五月五日

證 明 者 住 所

戰死者下ノ關係

所屬部隊名

陸軍官學校

此

市町村品證明箇所

現認證明書

本籍地

現任所

所屬部隊

官階

死後

徵求役種

死之年月日

死之場所

死之原因

死之理由

死之場所

死之理由

死之場所

昭和二十年五月十日

北島北部ルン島タラ

戦死

昭和二十年五月十日

北島北部ルン島タラ

戦死

昭和二十年五月十日

北島北部ルン島タラ

戦死

昭和二十年五月十日

北島北部ルン島タラ

戦死

昭和二十年五月十日

北島北部ルン島タラ

戦死

(昭和)



正氏

係

十

2. 遺物

1. 遺物

昭和二十年八月二十八日
死亡後遺物
遺物
昭和二十年八月二十八日
死亡後遺物
遺物

東京航空路
一等兵
死亡後遺物
昭和二十年八月二十八日
死亡後遺物
遺物

役種

兵種

年

月

日生

昭和二十年八月二十八日

一五九二

石の音昭和二十年八月二十八日
新込 依り 昭和二十年八月二十八日
せしことを確認す

3. 遺物

其の地

遺物

依り



昭和二十年八月二十八日

昭和二十年八月二十八日

1.0

寫

本籍地

所属部隊

機集年昭一四

死亡年月日

死亡場所

死亡原因

死亡状況

現認 証 明 書

南方第十二陸軍病院

（成第一〇六三部隊）

（機集年昭一四）

昭和二十年五月十一日

北島ルン島クマク州

戦病死（赤痢）

ルン島作戦中罹病し身体衰弱し死亡す

右に現認し證明する

昭和二十年一月十五日

現認者 所属部隊（通称）南方第十二陸軍病院（成第一〇六三部隊）

現住所

旧職官等級氏名（印）隊長 陸軍衛生任長

（印）

107-13

現 認 証 明 書

本籍地	所屬部隊	官等級氏名	發病場所	受傷年月日	發病死	死亡場所	死亡區分	死亡年月日	備考
[Redacted]	威勢ノ七六四部隊	陸軍上等兵	呂宋島サラクサク	昭和三年五月十日		呂宋島サラクサク	戦死	昭和三年五月十日	石確認したることを証明す
[Redacted]	威勢ノ七六四部隊	官氏名 陸軍大尉	[Redacted]	[Redacted]					昭和 年 月 日 現認者 現任 官氏名 陸軍大尉

204-1102

本
緒
地

新
隱
部
隊

曹家氏省

發病場所

受領年月日

傷
病
死

死亡場所

死亡區分

死 亡 年 月 日

· 摘要

右
昭認
和したる
年ころ
月日を
日を
見取す
見取者

現住
所
原籍
官氏
名
威寧
大尉
大西
部
邊

威萊
一六四部隊

陸軍部

呂守島 サラクサク

戰死

昭和十年五月十日

白雲の直雲を云ふ

階級は死に當時のものの

本籍地

死亡者之氏名

市郡町村番地

現住所

市郡町村番地

所屬部隊名 此島旅連隊第九五九部隊

官等 級 武 官 陸軍軍曹

一死亡年月日 昭和二十年五月十一日

一死亡場所 此島フランシ洲一雨之沢 (大佐命名) 山の中

一死亡事由 マラリヤ

一(發病年月日及病名) 昭和二十年三月廿日 救護班に收容サル 馬にマラリヤ

右ノ通り歿スル

本籍地 現住所

所屬部隊 此島旅連隊第九五九部隊

元職官氏名 陸軍衛生軍曹

記上ノ注意 一死亡事由 何々(實地) 創り受ケ死ス或ハ「マラリヤ」「シブス」
(前 戦 例) 一右手邊ノ下ニ戦死、戦場死、戦病死ヲ右ノ如クニ記シ該營營長ヲ入ス

[REDACTED]

五、

威靈三(即飛)陳

1/2

姓名 

昭和二十年五月十日

莊

分比圖

州二於二爆擊二依リ戰艦

タルトヲ證明(現認)ス

昭 和

三

河

職名主計曹長

八都

官等级

出如

[REDACTED]

注意：一、死亡地點、受傷部位、罪名等判明多テルモノハ詳記ス

一、驗名：中、小隊長、砲手、操縱手等上降船入

五

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ॥

固 有 部 隊 名 マニラ防衛司令部特別道路工作隊

通稱號名

官等級氏名(死亡前)

墨香

本籍地

現住所

年
月
日生

右ノ者昭和二十年五月十二日午後十時〇〇分

君タルバ之地區ナルヲ

山

テ
死
シ
タル
コト
ヲ
證明
ス

昭和二十一年十二月三十日

固
有
部
隊
名

元江府所衛司令郭鵬

通稱
地名

本
，
符
地

職官等級氏名印

北之者、との周縁

同僚

生後

四、戰死年月時刻及場所 昭和二十五年五月十四日 廣東省新會縣

六、遺精、滑精、夢遺、有無遺精、

[illegible]

臣等謹將該部議處各員分別開列
 欽此

其 他 上 申 止 濟 ナレバ 上 座 毎 月 日 及 上 座 増

姓名: 王 强 性别: 男 年龄: 35 职业: 教师

1990

右通事單外セタリハコトヲ證明修也

證 明 著 社 所

附錄 三 三民主義青年團 三民主義青年團 三民主義青年團

[REDACTED]

上卷之三

死亡補綴證明書

一死亡者所属部隊名 固有名 船五五第三十三號
一徵集年(任官年) 役種 兵種 昭和十九年徵集 船
一死亡者不詳地 [redacted]

一官等級一 昭和十九年[redacted] 死亡補綴年[redacted] 昭和十九年[redacted] 死亡後補綴[redacted]

一死亡年月日時 昭和十九年[redacted] 午[redacted] 分[redacted] 死亡

一死亡場所 北[redacted] 下[redacted] 部

一死亡原因 戦死に在りては傷病名及び受傷

一遺留品 昭和十九年[redacted] 月[redacted] 日[redacted] 状況

右補綴證明書

元所属部隊名 北[redacted] 部 第七七四部

現住所 元官等級氏名 [redacted] 部

昭和十九年[redacted] 月[redacted] 日[redacted] 署名

右原本と相違無き事と證明 教育民生部世話課長

觀見書

國子監書院
部郎中
官等

此為
大正

名區分事由場所年月日時

本籍在
留守田
留所云
度定當

五
九
十

某戰死

甲 何 印 何 村

卷之五

藏下通

之 繫地

新 部隊

(通稱)

徵集年昭和十六

官署設 上等兵 昭和二十二年

步兵才十七聯隊第三大隊才十一中隊

(杉才四七七七部隊)

中隊

年月日生

死 亡 不 月 日 昭和二十二年 五月十日

死 亡 場 所 タヤバシ洲ワタミラ東方一百キロ地矣

死 亡 區 分 (復讐) 戦 死 (腹部貫通銃創)

死 亡 者 十 音 夜 少 隊長 在 村 指揮スル一少隊右記地斬込

敢行 同君ハ小隊 輕キ突銃射トシテ 戦斗ニ参加如散陣ニ

死 亡 現 認 し 證明す

昭和二十二年 二月二十日

現 認 者 所 岳部隊 (通稱) 步兵才十七聯隊才三大隊才十一中隊

職 任 所

旧職官第 護民名 (印) 指揮班長代理

陸軍曹長

[illegible]

現認(死亡)証明書

昭和二十年九月十二日

地方世話

22.9.22

15-12

所屬部隊	固有姓名	比島渡邊盛九	品部	通稱	
年集附	昭和三十九年	現役	兵	飛行	
死亡年月日時	昭和二十年五月十四日	午前	午後	死亡	北都ルン島イムガン
死亡區分	戦死			傷病名	迫撃砲弾創
發(受)病(傷)年月日	昭和二十年五月十四日			准士官以上 任官年月日	
死亡時 の状況	前線、糧ヲ輸送途中一面の砲撃に遭ヒ	戦死ス		遺留品 の有無	

右證明候也

昭和二十年九月十二日

九月十二日

比島渡邊盛九

所屬部隊
宣達級氏名印

殿

大佐軍

本籍地

少尉

所属部隊

固有部

特設機關砲第二七中隊

通稱号

砲第一二六四七部隊

昭和二十一年四月二十九日、シンガポール島に於て古附近に連撃する米軍と交戦中昭和二十一年五月十四日新込隊長と夜突撃し、頭部腹部貫通銃創により戦死す

遺骨は死亡地に埋葬す

遺留品なし

特設機關砲第二八中隊

陸軍曹長

陸軍

戦死要目表

氏名		朝鮮連隊 歩兵第六大隊		通稱	朝鮮 陸軍第五部隊
生年	役種	死都官	死都官	氏名	(生年 月 日)
		歩兵	歩兵		
年	所				
通稱	通稱				
死亡年月日	死亡場所	死亡原因	死亡場所	死亡場所	
昭和二年十月九日	戦死	戦死	戦死	戦死	
遺品	遺品	遺品			
遺品	遺品	遺品			

右の通り相違なきことを証明する。

昭和二年 月 日

本籍地

(現任所)

元所屬部隊 朝鮮連隊第五大隊

階級氏名印 佐野正良

44-70

死亡證明書

要

項

記載事項

1. 死没者の本籍地 留年担当者
續柄氏名

2. 死没者の所属部隊 死没當時の
官 等 級 氏 名

(氏名には「フリガナ」を附けらるゝ)

3. 死没年月日時

(記憶が確實でない時は上中下句と)

4. 死没場所

(或るべき詳細に)

5. 死没の原因

1. 戦死の場合は何れによる何處
を受傷したか

2. 戦傷死の場合何れの時何れ
の何處を受傷したの後何々

3. 戦死の場合何れの時何れ
の何處を受傷したの後何々

4. 戦死の場合何れの時何れ
の何處を受傷したの後何々

5. 戦死の場合何れの時何れ
の何處を受傷したの後何々

所属部隊 (固有名) 三六七部大
通称 威八四五部隊
官 等 級 氏名 上士兵

昭和三十一年五月十五日

上島バヤオ

敵飛行機の爆死に
戦死 (爆死)

7-12

6. 死亡を現認したか。他人から聞いたか。その状況を具体的に

何と現認

7. 遺骨、遺留品について知っている事項

8. 死亡當時本人はどんな任務に服して居たか

陣地警備

9. 死亡者と本人とはどんな関係にあるのか

警備中隊

と相違ないことを證明する

昭和三十三年十月三十日

現住所

元所属部隊官等氏名 兵長

印

本籍地

現住所

前所属隊

官軍氏名

死亡場所(年月日)

陸軍部

番号

年 月 日

補兵種

補、歩、昭

死亡年月日

昭和五年五月十五日

死亡場所

ルソン島パレエ峠大和川合流点

元 亡 正 介

戦病死

遺体発見場所

昭和五年五月一日の頃、遺体はパレエ

遺体発見年月日

無

遺体発見場所

本籍地と同じ

遺体発見場所

本籍地と同じ

遺体発見場所

現住所

昭和五年五月五日

現住所

前所属隊

第十師団歩兵第十聯隊第三大隊

遺体発見場所

現住所

陸軍部

認證明書

第四卷 第九篇 雙龍圖

陸軍部

斗
羅
地

死亡年月日

二十五年五月十五日

死亡區分

畢死

7

死亡場所

シムニルン

傷風名

全身破片傷

遺囑

行方不明

看現熟事由

五月十日
彈子即充隊長
下三下理
彈子即充隊長
下三下理

廣州

右の通り證明する
昭和二十五年三月十二日

世所共聞

第四龍宣堡第九機突祀殿

个
每
八
名

倦風吟

五
五
性
所

孔教上之注意

本諸明書三創作於此時死亡者官年級生死亡當時の階級を記す
之死亡后其級の判明せる時は其の階級を記す方現認事由は
終續下詳細に記載する死亡正分係數元鐵傷死數病死不燒
死公病死未死元數鐵死應別元等あり

200 PR

本籍地 現
部隊名
官等氏名
死亡年月日
死亡場所
死亡区分
死亡理由
右現認

認証

30戦中 集団司令部

軍盾

20 5 15

バレー峠

戦死

本籍地

部隊名

官等氏名

飛行二〇〇戦隊

126-12

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 横柄

戸主

男

氏名

年 月 日生

二、所屬

固有部隊名
通稱部隊名

聯隊

派遣 成

第九九四二部隊

三、戦死者徴集年

昭和十八年

役種 現役

兵種 飛行兵

死亡前官等級 陸軍一等兵
在官進級昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和二十年五月十五日

比島ネグロス島三峯台

五、戦死現認ノ程度

死七換

ヨリ聴取スルモ本人ノ住所不明

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

斬込

五名出奔セルモ一名モ帰ラズ

7-10

九、其ノ他（正當に於テ死亡を宣告され、かつ、前記の如き理由により、又、その不問等記入）（申請済ナルハ上欄年月日及上陸地）

〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ続柄

実母

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三二年二月二四日

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

兵種飛行者等級陸軍上等兵

成十九四二部隊

戦友

氏名

印

市町村長證明箇所

昭和十九年
（昭和）十月

死亡事實（現認）證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

野砲第一聯隊

出生年月日

氏名

官等級

右ノ者昭和二十年五月十五日 時

分比島三於金島二依リ戰傷
病死シタルコトヲ證明（現認）ス

昭和 年 月 日

所屬部隊

4288

職名

官等級 陸軍兵長

氏名

注 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

二、職名ハ中、小隊長、砲手、機銃手等ト詳記ス

46-10

現認證明書

本籍地

所屬部隊、固有名第百三師團輜重隊通稱名拔第一〇六九八部隊

徵集年 昭和十三年 役種 豫 兵種 輜重

官等級 (昭和十三年五月十五日發令) 陸軍伍長 氏名

年 月 日生

一、死之年月日時分 昭和十三年五月十五日

二、死に至る及傷病名 戦死

三、死之場所 比島ネグロス島シライ東方二十科附近

四、死之状況 (一) 死之者ト現認者ト同係

本人ハ昭和十九年五月九日第一隊ニ應召爾後中隊ニ異テ

死之時ハ合隊員グアツタ

(二) 死之前後、状況

五月十五日シライ東方二十科附近 敵陣ニ斬入、際受傷

戦死ス

五歳及遺品の
有無を調査

遺骨 遺品 共有

大死之なる事歟

事歟に終戦後却シテ

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十二年四月二十六日 元所属部隊(固有名) 第二師團輜重隊

(通稱名) 被第一〇六八部隊

現住所

苗職官等氏名 第一中隊長代理 陸軍中尉

一、死之者本籍地

二、為子被殺者、
住所被殺者

養父

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十二年 月 日

現 認 明 細

著 者 の 死 亡	本 籍 地	[Redacted]	
	部隊名	個 有 名	能三師 第六四
著 者 の 死 亡	連 隊 番	個 有 名	旭 一一一 部隊
	官 等 氏 名	個 有 名	三 幸 五 [Redacted]
著 者 の 死 亡	死亡した場所	島根県 島根市 新町	
	死亡した年月日	昭和三年 五 月 中 旬	
著 者 の 死 亡	死亡原因	戦 死	
	戦死、戦病死分	戦 死	
著 者 の 死 亡	戦死の状況		
	場所、負傷部位等を記入する		
著 者 の 死 亡	戦病死の状況		
	発病年月日、場所、病名等を記入する	アモニア 欠 欠 欠	
著 者 の 死 亡	遺骨、遺留品の状況	ナシ	
	現 住 所	[Redacted]	
著 者 の 死 亡	部隊名	個 有 名	第六四
	連 隊 番	個 有 名	旭 一一一 部隊
著 者 の 死 亡	死亡者との関係		
	右の通り現認する		
著 者 の 死 亡	官 等 氏 名 印	[Redacted]	

B3-11



状況不明者の資料届

本籍地

上等兵

所属部隊 固有石建業勤務隊中隊

通稱 號 渡第四八九部隊

昭和二十一年三月三日敵上陸開始に伴い部隊轉進、為移動中
砲彈、為腹部受傷戦死、昭和二十一年五月五日比島セブ島
遺骨遺留品あり

渡第四八九部隊

伍長

寫

現認證明書

地方世話部

右現認證明致します 昭和22年4月3日		死者との関係	死亡時の状況	死者		亡		死	
		同部隊戦友	昭和22年5月15日坂セブ島セブ市ヨロギ地北方から機銃掃射を行き部落民の死を要り死す	留守宅住所氏名	死亡年月日時	種役	本籍地	所屬部隊	
現認者 官等氏名 所屬部隊 現住所 本籍				死亡原因	昭和22年4月15日	補兵	坂セブ島セブ市ヨロギ地北方から機銃掃射を行き部落民の死を要り死す	獨逸隊五回水園三六二大隊(戦)成一七六〇二部隊	
陸軍 一七六〇二				死亡場所	セブ島セブ市ヨロギ地北方附近	前死階級	一等兵		
				死亡時間	時分	後死階級	一等兵		
				死亡事由	戦	氏名	坂セブ島セブ市ヨロギ地北方附近		
				顔相	文				

大川納

20-10

地方世話部

大川紋

(別)

現任所
町内部長
町内部長
町内部長

陸軍部長
陸軍部長
陸軍部長

1. 遺骨
2. 遺留品

3. 現據書類
4. 其の他

現

現

現

死亡年月日
死亡年月日
死亡年月日

昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日

死亡年月日
死亡年月日
死亡年月日

昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日

死亡年月日
死亡年月日
死亡年月日

昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日

死亡年月日
死亡年月日
死亡年月日

昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日

死亡年月日
死亡年月日
死亡年月日

昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日

死亡年月日
死亡年月日
死亡年月日

昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日
昭和四年五月十五日

陳長

昭和二十二年 月 日
第 號
(號)

死亡者調查表

昭和二十二年 七月 十日 調製



52-10

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戸主

氏名

年 月 日生

二、所属 派遣 部隊

三、戦死者役年 年 役種 兵種 死亡前官等 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時及場所

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡區分

九、其ノ他

二、遺族ノ現住所

戦死者ノ戸籍

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ関係

所属 部隊名

兵種 官等 陸軍 佐

氏名

市町村長證明箇所

印

現認(事實)証明書

本籍

部隊名

歩五四五大隊

伍長

一死之年月日

昭和三年五月 日 申

一死之場所

比島和ノック通ニテ回折

一死之五分

戦病死

一當時ノ状況

暴襲突調ノ処マリアア併発面起不能トナル

右之通証明ス

昭和三年十一月三十日

先鋒歩五四五大隊

陸軍二等兵

(147)

死亡者別表

本籍地

市

町

番地

住所

市

町

番地

死亡年月日

昭和二年五月十五日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日

死亡年月日



状況不明者の資料局

本籍地

上等兵

所属部隊 固有名 独立有線第九中隊

通稱 號 威第三三三部隊

昭和二十年五月十八日比島中ルソソビナに於て山中に於てゲリラ兵に遭遇し激戦。結果負傷し間もなく死す

威第三三三部隊

上等兵

現認證明書

教育民生部主務課

所属部隊
固有番号

第十航空機隊附隊

所属部隊
連隊番号

成一八九六〇〇〇隊

本籍地

職業

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

昭和三十七年

2-12

我死確証書

明治三十九年六月二十一日

元陸軍一等兵

左之者昭和二十年五月十六日ルワン島

ニ於テ我死セシコトヲ確証ス

昭和二十二年六月二十一日

丁卯年五月

現 沼津市清水町

父 沼津市清水町

母 沼津市清水町

この書は

[Redacted]

証書の件

にこそはお来といふ事がありまうか

中隊の幹部も末だ均選ともなま

まかりあ向にかかれましても整に

理上お困りの事と存じますので私

同少隊員といふから現忍証の

淡々

[Redacted]

一石は激我中

右翼分隊長

[Redacted]

軍我の分隊長

て私は左翼分隊長といふ事

我よりいふに

我よりいふに

知るる傷に後遺

B-14

示ん中ト大直り下すあり証明し
 事すもつ長文口了解し
 自の於る大直り下すあり証明し
 何の上中存存部末還の存還
 萬事等ありあり身

島

元現認書

威一八九六部隊

元陸軍兵長

右之者昭和三年五月十六日ソノ島ノ高地
ニ於テ戦死セシトモ現認す

昭和三年三月十日

威一八九六部隊

元陸軍兵長

階級氏名	衛生曹長
現住所	[Redacted]
現勤務所	八師團中野戰病院附
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
死体部隊に於て埋葬セリ	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	
昭和十九年八月内地より比島に派遣マシテ附近の战斗中昭和二十年五月十六日午前十一時三十分戦死す(战斗中腹部に弾破片創を受理即死す)	

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

徵集年

昭十二

氏名

官等級

右ノ者昭和二十一年五月十六日午後

三十分サツグニ於テニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年五月十七日

所屬部隊

官等級

氏名

一、死亡地點、受傷部位、病名等列明シアルモノハ詳記ス

一、職名、中、小隊長、砲手、操縦手等ハ詳記ス

24-10

死亡事實(現認)證明書

本地雜木

現佳所表 = 可也

所屬部隊 杉 四七三

徵集年昭 10

氏官等名級

卷之五

有ノ者昭和三年五月廿日三時

分ルヲ馬 二於テ 二依リ戰傷

丙死シタルコトヲ證明（現認）ス

昭和三年七月十一日

所屬部隊

三才圖會

官筆級 陸軍一屬

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

二、職名：中、小隊長、砲手、探測手等（詳記之）

[illegible]

95-10

年 月 日生

972

現地手帳記載

本籍

[Redacted]

前屬部隊第十四方面軍政務部

階級

死後

不明

死後

不明

死後

不明

死後

不明

役種

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

死心場所

北御ルン

ラト

不明

不明

不明

不明

不明

不明

23



一、留學米氏！米氏

瘦 115 斤 1 斤

死亡現

所屬部隊

種 類

本籍地

留子撫堂

信力難在

二易

元之通

北

讀書堂

臣	名	臨時步兵一甲隊	巡視	城內四圍	中
---	---	---------	----	------	---

昭 6 一 補 歩

1

序

現	五	六	五	〇	三	三
---	---	---	---	---	---	---

コンブマシヨウカバコ 雑度 乙

戰	死	乙
---	---	---

明		
不		

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

右現認寸為

一五五

長

流亡者の劉劭

石

西
方
文
學

974

5-10

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

徵集年

氏名

右ノ者昭和二十年五月十七日午後九時

五十分、小隊二於ニ依リ戦傷
病死シタルコトヲ證明(現認)

昭和二十一年二月三日

所屬部隊

職名

官等級

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、探照手等ト詳記ス

5-10

死亡現認證明書

死亡現認證明書	所屬部隊名	陸軍兵長	水籍地	昭和二十年五月十七日	死亡原因	戦死	死亡場所	アホカン	傷病名	頭部迫撃砲弾片創	遺留遺品の状況	ナシ	現認事由	昭和二十年二月十日、信州作戦、二軍北回、五月十七日戦死、同作戦三回部隊、二軍加増、	年月日	昭和二十年三月十日	所屬部隊名	獨立機用銃二十五大隊二中队	中隊長	陸軍兵長	現認
---------	-------	------	-----	------------	------	----	------	------	-----	----------	---------	----	------	---	-----	-----------	-------	---------------	-----	------	----

79-1

175

997

現認(死亡)證明書

檢印	課長	高橋	科長	主任	鑑定	係	認
所屬部隊	第一連	步兵	現任所	本籍地	死亡年月日	死亡原因	遺體所在
振武集團	第一連	步兵	本籍地	昭和二十五年五月十七日	戰死	昭和二十五年五月十七日	無
大隊	第一連	步兵	妻	昭和二十五年五月十七日	戰死	昭和二十五年五月十七日	有
現任所	本籍地	死亡年月日	死亡原因	遺體所在	鑑定	係	認
本籍地	死亡年月日	死亡原因	遺體所在	鑑定	係	認	認
死亡年月日	死亡原因	遺體所在	鑑定	係	認	認	認
遺體所在	鑑定	係	認	認	認	認	認
鑑定	係	認	認	認	認	認	認
係	認	認	認	認	認	認	認
認	認	認	認	認	認	認	認

現認證書

比島 陸軍 第一四五六部隊

陸軍 伍長

右者昭和二十年五月二十日比島バニシ飛行場附近(富士山)に於て

胸部貫通銃創二處あり(肋骨断裂)と云ふコトヲ現認

昭和二十年三月七日

現認者元 隊 陸軍 曹

現住所

氏名

9-12

陸軍

死亡現認(確認)證明書

本籍地

竹島部隊

此島は、昭和五年五月十八日、陸軍上ト主人 氏名

一死亡年月

昭和五年五月十八日六時 分

一死亡場所

此島北西部、リニギエシ、イムガシ、荒津地附近

一死亡原因

戦死

一傷(病)

一遺骨(物)

無

一死亡時状況

部隊がシンド金蔵を襲撃、新辺ニニエ動中一面ノ

砲撃ヲ受ケ戦死香續ムソラハ各中ノ

直撃ヲ受ケ戦死ス

右現認(確認)ス

現任所

昭和五年五月十八日

現認者

竹島部隊

陸軍

23-10

第百三十七兵病作業隊

威九七六七

昭十七 現 歩 兵長

住所 本籍に同じ

昭和貳拾年五月拾日

比島ルン島北部
バリテ峠北方約十科

戦死

同上作業隊に居り終
始行勳と共に確認す

昭和二十二年 十月 五日

元百三十九兵站病院作業隊

陸軍兵長氏 名

大德

魚地

合隊

Figure 1

1

100

NeuroChem

THE

44

100



現認(死亡) 證明書

檢印	課長	科長	主任	認定者	現認者
所屬部隊 同月 振武集團 大隊 水隊	本籍地 [Redacted]	現住所 本籍地に同じ [Redacted] 妻 [Redacted] 生	死亡年月日時 昭和三年五月十八日 死亡場所 和島市小州 死亡区分 戦死 戦死 昭和三十五年五月十八日	死亡時間 五月十八日未明 戦死 戦死	右現認者 昭和二十二年九月五日 [Redacted] 任長

認定	部	名	留
昭和三十五年五月十八日	和島市小州	戦死	戦死

死亡者数一現狀一證明等

本領地

所屬地

大田郡堅原比島村遺民才五九二部隊所屬

通稱

後援隊

予備隊

伍長

昭和十二年發集

右ノ各縣報丁ニ五ノ月十九日ルソン島ノテイク地正山岸にアマリヤの
船内及び船外當時年長二月三月の開新山夜襲も數回全隊
中隊も亦無一人の死なかつた。聖佳マリヤの死の惜しきも前だ

シムレコトラ現況スノ

昭和二十一年十一月十六日

大田郡堅原才五九二部隊

陸軍省

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 第八師団 野砲第一聯隊 杉威(四七五八部隊)

二、徵集年 昭和十一年 後補第三國民義勇兵種 山砲兵

三、官 等(死歿前) 上等兵 (死歿後) 兵長

四、氏 名 [Redacted] 生 年 月 日 [Redacted]

五、死歿場所 比島 マニラ東方約里岸 モンタルパン河合流点附近

六、死亡原因(事由) 戦死(爆弾)

七、死歿年月日時 昭和十一年五月十九日

八、死歿者本籍地(留守地) [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和十一年五月 日 元所屬部隊 マニラ防衛司令部 (司令官) 成

現住所 [Redacted]

元官等級 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

(註) 死亡非山 場所ハマルパタラント特ニ暴撃後ノ死亡ニ明細ニ生死不明ナラズ者ハソノ前後ヲ知ラズト知ラズト

宛先 [Redacted]

地方世話部認定係 [Redacted]

988

右現認入

死亡年月日
死亡場所
死亡区分
死亡理由

本籍地
部隊名
官等氏名

現認証

昭和二十年五月二十日

北都ルリ島八上峠

戦死

本籍地

部隊名

官等氏名

三ヶ所家藏本部

陸軍少尉

現認證明書

新

11-12

本籍地	現住所	所屬部隊	官氏名	死亡場所	死亡區分	死亡日時	死亡傷(病)名	留守擔當者住所	續柄氏名
[Redacted]	右同	第四航空軍独立第七機関砲隊	陸軍陸軍兵長 (死亡前)	ガタマヤ	爆死	昭和二十年五月二十日 二十三時	頸部貫通 頸部爆彈破片貫通刺	現住所同	父 [Redacted]

右證明

昭和二十二年

月 日

現認者住所

元所屬官氏名

第四航空軍独立第七機関砲隊付

寫

高野繁雄

姓名

死亡年月日

死亡場所

死亡原因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

死因

満洲第三七六部隊

上等兵

昭和二十年五月二十日 十三時二十分

北都ルン島アリターラ北方六料、地矣

戦病死

昭和二十年五月二十日、分隊一級に糧食輸送準備中、敵砲撃により、破片に頭部を被弾、傷重、三日後に入院、翌日より北方六料へ、後脚氣を患ひ、死にせり、右現認せり

本籍地：全三

父

部隊：師団輸送隊ト、分隊一級に輸送中、敵砲撃により、破片に頭部を被弾、傷重、三日後に入院、翌日より北方六料へ、後脚氣を患ひ、死にせり、右現認せり

同、遺骨遺留品共ニ死体ト一併ニ埋葬せり

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

同中隊同小隊初斗兵ヨリ班長トニ行動ヲ参入

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 本籍地ニ同シ

所屬部隊 第二六九部隊

戦果年 形一八

氏名

官等級 陸軍上等兵

右ノ者昭和三十年五月二十日 時

分^ガ隊^ヲニ於テ不明ニ依リ戦傷
病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十一年十二月十五日

所屬部隊 独立歩隊三五八大隊第三中隊

職名

兵隊

官等級

陸軍軍曹

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

39-11

9-13

[REDACTED]

通 告

宣統貳(昭和)

年 月

日機令)氏全

年 月 日生

一、死亡年月日時分 昭和二十一年九月二日 時 分

二、死亡區分及傷病名 數天 所部貴盟旗劇

三、死亡場所 此陣中、利島三ヶ所、大島、小島、市力、うん、す、特見

四、死亡状况：本人于昭和二十一年四月五日，因患三度急性

卷一百一十五

先朝御極聖祖

兵、重文重武の品が有証

並に、**位置（状況）**

六、死に關する書類の有無 あり

(圖有) 盛年/05/15 部隊

昭和三十三年 九月 九日 元所屬部殿(固有名) 森田 百五十五 部 陽

(通稱名) 南方第十三 陸家病院

現住所:

舊職官尋氏名 陸家倫 七十五

一、死者本籍地

1. 留守捜査者の

住所欄氏名

右の通り相違ないことを證明する

昭和癸卯年五月廿一日

縣 都 市 長 區

死亡者現認證明書

本籍

部隊

鐵道第八聯隊

(威二二四四)

二中隊三小隊

元

豫(欽)上等兵

(伍長に連服せしめを通告)

右者 昭和二十一年五月二十日、ルソン島、マニラ東方山嶺地帯の戦闘に於て戦死せる事を現認す

昭和二十一年八月二十二日

現認者

住所

部隊

鐵道八聯隊二中隊

元陸軍伍長

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 横柄

氏名

年 月 日生

二、所属 国 軍 隊 名

北 部 隊

第 部 隊

第 部 隊

第 部 隊

第 部 隊

第 部 隊

第 部 隊

第 部 隊

三、戦死者役職 年 月 日

八 年 役 職

兵 種

歩 兵

死 亡 前 官 等 級

陸 軍

年 月 日

年 月 日

年 月 日

四、戦死年月日時 及 場所

昭和 年 月 日

時 刻

及 場所

山 中

山 中

山 中

山 中

山 中

五、戦死現認ノ程度

推 定

推 定

推 定

推 定

推 定

推 定

推 定

推 定

六、遺骨歸還ノ有無

有 無

有 無

有 無

有 無

有 無

有 無

有 無

有 無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

敵 中ニ切込ニ出テ歸ラズ

八、死亡区分 戦死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

九、其ノ他

其ノ他

其ノ他

其ノ他

其ノ他

其ノ他

其ノ他

其ノ他

其ノ他

十、遺族ノ現在所

遺 族

遺 族

遺 族

遺 族

遺 族

遺 族

遺 族

遺 族

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

証明者住所

証明者ノ關係

所屬部隊名

兵 種

官 等 級

陸 軍

歩 兵

兵 種

官 等 級

陸 軍

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所



戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名続柄

戸主

氏名

二男

日生

三、所屬

三、戦死者敬称年

四、戦死年月日時

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

八、死ニ區分

九、其ノ他

戦死者ノ現住所

戦死者ノ続柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三年四月五日

證明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

兵種 砲兵 官等級 陸軍大尉

氏名

印

市町村長證明通可

162-10

所 屬	面 有 名	姓 名 重 砲 隊 第 三 十 大 隊	本 籍	身 分	死 亡 時 間	死 亡 場 所	死 亡 原 因	遺 留 品	遺 留 品 の 説 明	承 継 人 の 氏 名	現 住 所	所 屬 部 隊	官 等	陸 軍 大 尉	氏 名	
	通 稱	第 一 七 五 七 部 隊														
死 亡 時 間	昭 和 三 十 年 五 月 二 十 日															
死 亡 場 所	多 米 島															
死 亡 原 因	爆 彈 破 片 創															
遺 留 品	無															
遺 留 品 の 説 明																
承 継 人 の 氏 名	戦 死															
現 住 所																
所 屬 部 隊																
官 等																
陸 軍 大 尉																
氏 名																

昭
和
三
十
年
五
月
二
十
日

本
籍
に
同
じ

9-10

明書

陸 軍

留學諸君 本籍地へ

文

昭和五年五月三日陸軍省第五十八中隊（一）に
屬し、昭和二十五年五月二十日北見北ノノ島にてカチナン
アバオ部と衝突し、於て一死一傷あり、然るに爲り戦死
せし者現に死体は埋葬せしむるありき、證明す。

昭和二十五年五月四日
元連隊長松島秀雄第五十八中隊所屬
中隊長代現陸軍省

死亡証明書

所属部隊	国名	戦立自衛隊第三二九中隊
役種	兵種	戦第一北三三三部隊
死亡直前の官	位	長
寄氏名	俗	兵隊
本籍地		
番号	現住所	全
姓	得氏名	父
死亡年月日	時刻	昭和三年五月二十日
死亡場所		本郷五所丸手川
死亡原因		敵機銃弾射撃による戦死
死亡経過		敵機偵察機を丸手川に下流河に 前進中敵と遭遇し之と激戦中 敵機銃弾の集中を受け戦死した
死亡年月日	時刻	
死亡場所		
死亡原因		無

左証明致す

昭和三年四月十五日

証書官 北三三三部隊
理定計 全 方
所 爲 戦立自衛隊第三二九中隊
官 爲 戦立自衛隊第三二九中隊
死亡直前の官 長
死亡直前の兵 兵隊

現認証明書

本籍

氏名

生年月日

昭和二十一年一月一日生

右の者は昭和十一年漁業移民としてカリフォルニア州に渡り、ミラモント市エリントンがインサニティールにて平に居住している。

昭和十九年九月日本軍から現地司令官に受け附けられた南米軍部隊に加入し、部隊に隊員として従事し、戦後南米軍部隊に納入した。

昭和十九年十一月頃敵機の来襲が激しくなると右通分隊は北部ルソノ島サルマーゲ港に移動避難した。昭和二十一年一月米軍機が大空襲を襲い、爆撃を受け船舶全部を撃沈された。其の後同地駐屯軍は

兵団と行動を共にして米上陸軍と心戦し、カリフォルニア各地に移動した。

昭和二十一年五月二十日大トガノ部落附近で其の部隊は米軍との間に激しい遭遇戦が展開された。其の日私の隣にいたのは敵の銃弾を全身にあび即死しています。私は右戦後の遺体を処理することゝ出来ず

3月11日

部隊と共に遁撃を続けるしか出来なかつた。
昭和二十一年八月終戦後まもなく敵機が三度、
日本の敗戦を知ることが出来たにもかかわらず
カメル地帯を移動して、同年の十月迄に於いて
バギエ地帯で未だに捕虜にありつた。
以上の状況下で私共は殆どが栄養失調状態に
あり、たゞ捕虜と同様の野戦病院に収容され、
南サウスランド、カメルバ、アンタルバと移され、アンタルバ
から日本の病院船につくし、丸に乘船、浦賀に上陸した。
昭和二十一年一月復員した。
以上の通り、[redacted]の戦死も確認証明致した。
昭和二十一年三月 [redacted]

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

野砲兵大隊隊

徵集年

官等級

兵隊

右ノ者昭和三十年五月二十二日 九時

分隊を率ゐる中於ニ戦場ニ依リ戦傷

痛死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十年五月二十二日

所屬部隊野砲兵大隊隊 姓名 野砲兵

官等級伍長

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳細ニ

一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

50-11

[illegible]

[illegible]

(要旨)

所屬部隊名

官等級氏名

陸軍兵長



本籍地

1

死亡年月日

昭和廿年五月廿一日

E

死亡二分

戰死

此

卷之五

死亡場前

比島ミシダオ島ダバオ州モシテベルニ

モメントル

傷病名

頭部及腦部貫通銃創
(頭部及發胸部八發名義)

欽定四庫全書

李陽明

真

五ノ新編

10

現認事也

敵攻具ヲ受ケテ米枿ニテ敵トシテ敵カハロシ小所ノ銃彈ヲ受ケテ此ニ對ス

小宛、鍾輝ヲ愛ス此三

證用年月日

右の通り、證明する。昭和廿一年二月一日。

身二用

所屬部隊名

第百師口京七五口第百六拾八人隊
襲第一。三二二部隊
襲（襲砲隊）

大族
邵族
族
族
族
族

官等級氏名

陸軍遊尉

22

LD

現住所



記載上の注意

本道用書三節作明筆。死亡者官筆歟は死亡當時の階級を記し、死後追放の判のせう時はその階級とし、死後下を現認する。死後追放の判のせう時はその階級とし、死後下を現認する。死後追放の判のせう時はその階級とし、死後下を現認する。

2114

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月廿一日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念

所屬部隊		死	場	所	事	由	現役	氏	名	本籍
成九九七部隊	昭二〇 五月 二二日	ホノノス ライ山中	迫撃砲ノ果 中破火ニ依リ 戦死ス			夫長			右全	父

右現認ス

現任所

所屬部隊 此處は通成九九七部隊
官等後援者印 陸軍曹長

留守
21233
和
5
付文

7-13

2140

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月廿一日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追示

本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シテラサルニ付爲念

所屬部隊	死	場	所	事	由	氏	名	本籍	現住所
比島派遣隊	昭和二十年五月	木ノノス島	三軒屋	砲火ニ依リ戦死ス	砲火ニ依リ	神夫	矢長	右全	シ
威丸九七部隊	二月	三軒屋							

右現認ス

現住所

所屬部隊

比島派遣隊

威丸九七部隊

陸軍曹長

陸軍曹長

陸軍曹長



號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月廿日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追市 本件左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニテ當部ニ於テ公報等處理シテラサルニ付爲念

所屬部隊	死	場	所	事	由	現	氏	名	本
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父
山梨縣道	昭二	不名	入道	追出	現	矢長		右	父

21.2.23 和
4306
付受

6-11

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

野砲兵第八聯隊

徵集年

氏名

官等級 兵長

右ノ者昭和

多イ 年 五 月 三 日

時

分布利シニ於テ戦死シ依リ戦場

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和 多イ 年 二 月 イル 日

所屬部隊

職名

野砲兵第八聯隊

官等級

兵長

氏名

- 注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
一、職名ハ中、小隊長、砲手、探照手等ト詳記ス

27-11

現認證明書

比島派遣隊第七六五部隊隊中隊

陸軍衛生兵長

右者昭和 二年 五月 二日

比島派遣隊第七六五部隊隊中隊

ニ於テ

頭部貫通銃傷ニ依リ戦死（戦死）トシテ現認ス

昭和二年 五月十五日

現認者元 隊第七六五部隊隊中隊 陸軍中尉

階級

現住所

氏名

印

現認証明者

本稿

所属部隊

此島源遠成第一四五部隊

陸軍

上等兵

昭和二十五年五月三日午後五時三十分に於て敵機銃により
戦死したる事實を証明す

昭和二十五年一月三日

本稿

現住所

元所属部隊

戦後第一四五部隊

大隊

中隊

陸軍

兵長

左記認証明者の通し相違なき事を証明す
昭和二十五年 月 日

100-11

現認證明書

本籍地

所屬部隊

一 死亡年月日時

一 死亡場所

一 死亡原因

一 死亡姓名

一 死亡年齢

一 死亡性別

一 死亡職業

一 死亡軍階

一 死亡軍種

一 死亡軍団

一 死亡軍師

一 死亡軍旅

一 死亡軍團

一 死亡軍師

一 死亡軍旅

一 死亡軍團

大塚十中隊

死亡前陸軍軍兵氏名

以高嶺部少佐

戦病死

アリア

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

昭和五年三月三日

現認者

階級

氏名

大塚十中隊

昭和五年三月三日

[illegible]

課長

係長

主任

戦歿者確認證明書

昭和22年8月28日

固有部隊名

南航隊

通稱

隊一五九二

死亡前階級

死亡後階級

徴集年

役種

兵種

年月日生

本籍地

留守擔當者
氏名

死亡月日
場所事由

右の者昭和22年5月27日午後8時分ソラノ谷に於て
砲撃に依り戦死せしことを確認す

1.遺骨

2.遺留品

3.戦壕書類

その他

現認

依頼

通知

調査所

製所

署名に於ける署名印

長

(課別)

課長

係長

主任

戦死者備録證明書

昭和22年8月28日

願望科

32-10

固有部番号

南沢路ヲミナリ

通稱姓

一五九二

死亡前階級

佐長

死亡後階級

曹

兵

徴集年

昭14

役種

予

兵糧

年月日生

本拠地

[Redacted]

留守地
見所
氏名

死亡日
場所
事由

右の者昭和20年5月23日23時分ソラノ附近に於て砲死に依り死せしことを確認す

1.遺骨

3.戦壕等類

2.遺留品

4.其の他

現認

依頼

(周知)

調査所

製所

考案に於ける官印

官印

署名

[Redacted]

05-09

戶主名義柄 戶主

出

年 月 日生

比島派遣振武第壹軍團 〇〇〇〇大隊作業小隊

四、戰死年月日時及場所 昭和三年五月二十三日、ルノノ富岡リサール訓練場、(竹(三浦東幸)立機)

互戰死現認、程度推定

六、遺骨歸還，有無任何

七、戰死當時，狀況，概要

本縣生匠有創自土為刀主力以子物，(北)外北高地(反掌呼稱東光撐山)

[illegible]

事由：因施工作业，影响交通，特此公告。

九、其人也（上陸地處於死亡者屍體旁，即立、部隊醫務所班）

又へ不明等記入

...and the

戰死者トノ續柄 父

氏名

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 三月十日

證明者住所

雙死者下，關係同大隊高級區官

所屬部隊名比島派遣振武集團 兵團 大隊

兵種 官等級陸軍 軍醫中

出

市町村設置明細所

石通相建堂之啓

癸丑年五月十二日

142

11-88

氏名

年 月 日生

比鳥 派遣 鐵 第五四四七部隊

陽和二十年正月十三日

[illegible]

研 究 行 為 體 現

代價

本小、ハニ峠轉進(昭和五年五月五日)後、隊隊本、部、傳令トテ、戰斗ニ參加
 ンリタルガ、天皇山新、攻、意、テ、ハ、爲、戰、隊、ニ、編、成、セ、ラ、レ、所、ハ、隊、長、ノ
 招、揮、ニ、依、リ、五、月、二、日、ハ、天皇山ニ、出、テ、戰、斗、シ、テ、天皇山ニ、再、ビ、テ、戰、行、シ、テ、大、ハ、戰、果、ヲ、

死亡區分
死亡原因
發病年月日
昭和 年 月 日
死亡年月日
昭和 年 月 日

[illegible]

佐古傳於死之國也。中主

戰死者ト、續柄

氏名

昭和二十一年 二月九日

賊死者十六 蘭保

兵種 しんしゅ 少将 しょうしょう 官等級陸軍 くわんとうじきりくぐん 陸軍 りくぐん

出 如

五

[REDACTED]

1019

昭和十一年一月十日 廣上 敬賀

以和九年八月

五

五

五

予は直に観念の道へは其言の内を其の趣くたの道
 を得て居りしと

主君を失て、私運一同の悲しき者大に。父は
 おつと誓言して、**佐長**殿。一もかたがたがな一門
 の近より小商人は**兵衛**殿。夫一同心からなせやがふ
 基の上にて、**徳次**殿。しるしを
 其れから一通商仕は都隊が二匹居りきたり
 野の花より、土民の果香も其れ失うを致し
 序らかりしか。五月末日轉送命令を受付、私運正最速
 〇奉参上之。**佐長**殿と申す部以部、した
 向洲通骨は**佐長**殿。右殿か都隊の惣へて集め
 らん名在屋。上陸地一御要。定て有りなり。

郷一同業に何かがしと書きたる申すにゆゑは、
 或は由來よりと書に思ひて居りて、
 我より、未事と書きたる也。

五、國之民衆、其志一也。

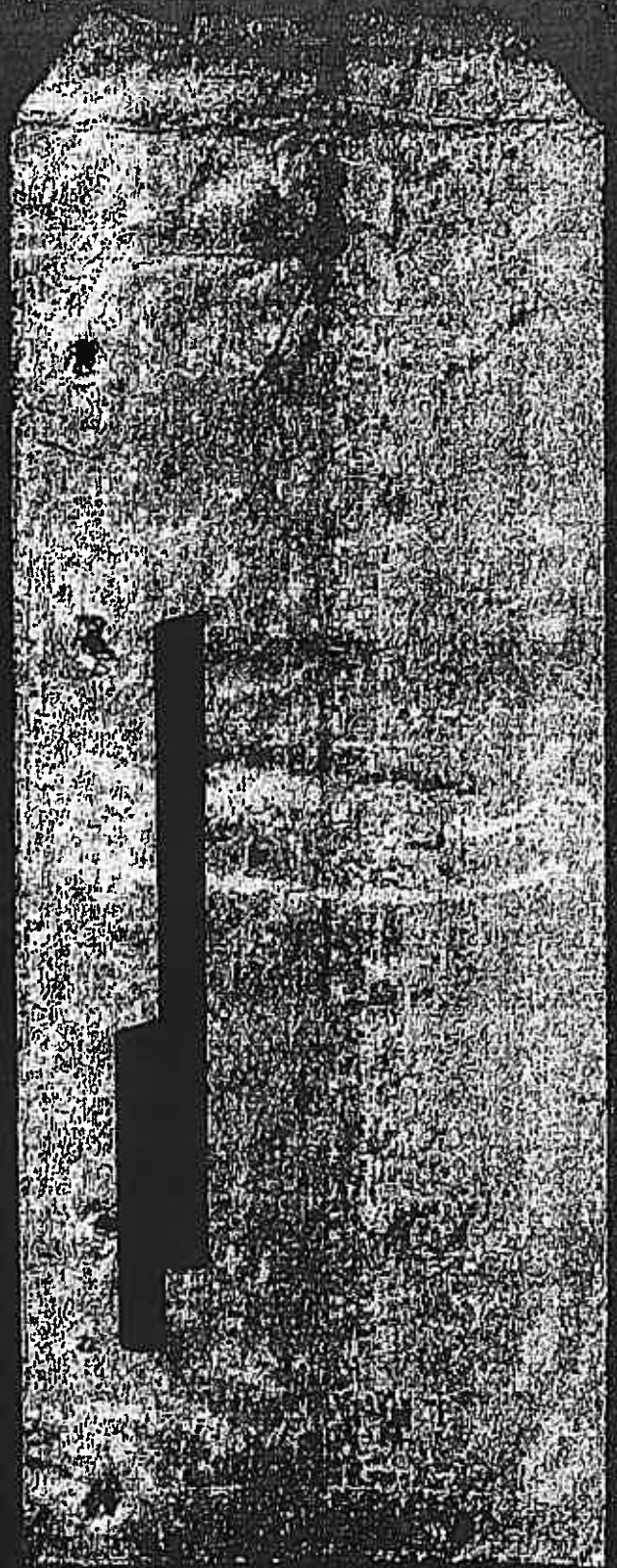
1945

大德寺藏書之印



様

20-14



現 跡 證 明 書

比島 派遣隊 第一七六〇一部隊 除

陸軍一營兵

右者昭和二十年五月二十四日 比島 三浦市 附近ニ於テ

左胸部中矢通銃創ニ依リ戦死（戦死時）セルコト

ヲ現認ス

昭和二十年十二月十日

現跡者 元 比島派遣隊 第二部隊 除

現住所

氏 石 陸軍 佐野

現 認 證

無別月... 隊通稱號... 一八九一五...

微事... 役... 階級...

年... 備... 生... 職...

年... 月... 日生...

平... 昭...

[Redacted]

昭...

入... 昭...

昭... 昭...

昭...

外... 昭...

昭...

主... 昭...

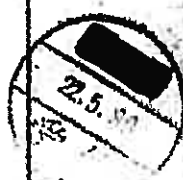
其... 他...

死 亡 認 定

死... 昭...

死... 昭...

昭...



23-12

遺骨遺留

新報

功績令其要否

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

蘇子名方大陳弓方王孫別號南三參加乙丑春山江義

中學以下全賣

此より上は、生石君一巻、
衛生法(通)ヨリ、
塩・保り知、
水・市・肉・牛・
穀類、

死に認定，理由

1. 目認
2. 死体生葬
3.

右之通り認定ス

所属部隊
大正陸軍通信隊

規
作
所

官等兵石印

備考

判明セル所ハ成ルベク詳キヲ記載セシメ度ク

死亡認定ノ理由ニ
 記憶ノ不十分ノ
 他人ヨリキケモノ

年
雅
寒
凡
少
入
計
履
步
不
行
示
西
作
一
三

現認証

本籍地

[Redacted]

部隊名

30戦車集団司令部

官等氏名

軍医

[Redacted]

死亡年月日

昭和25年

死亡場所

ルソン島 第三塩水地付道

死亡区分

戦病死

死亡理由

栄養失調

右現認証

本籍地

[Redacted]

部隊名

飛行二〇七戦隊

官等氏名

[Redacted]

現認證明書

本籍地

現住所 右二同

所屬部隊 中四航空軍独立第七機肉死隊

官兵名 陸軍陸軍上等兵(死之前)

死之場所 ホソ (マニラ東北二十四キロ)

死之原因 戦死

死之日時 昭和三年五月二十五日十七時

死之傷(病)名 胸部貫通

留置擔當者住所現住所同

續柄氏名 妻

右證明す

昭和三年五月日

現認者住所

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 第四航空軍獨立第七機関部隊

官氏名 陸軍軍曹 (死亡前)

死亡場所 丁ゴス

死亡區分 痰死

死亡日時 昭和三年五月二十五日午後三時

死亡傷(病)名 マラリヤ (瘧疾 三年四月三十日)

留守擔當者住所 本一務地ニ同シ

續柄氏名 妻

右證明する

昭和二十二年

現認者住所

元所屬官氏名

第四航空軍獨立第七機関部隊付

陸軍中佐

16-11

所屬部隊見書上卷威元一六七二部隊

死生錄

步上矢

步兵

年
月
日

一、死亡場所
此島より東に約五里

一死區分

五言古詩

懷軒黃通阮翁

一、還骨の有無

遺族現住所續柄代名

右相遠

昭和三年四月五日

現任所

現認者所屬部隊此為派遣隊一六七一部隊

長等氏名

樓上客矣

本籍地
所属部

陸軍大臣前見習少尉

役種兵種
年次現役工

年
月
日

一死
年
月
日
時
昭和元年五月二十日午前八時乙

所 此處ニダテカガヤシ洲
ムライバライ

一區分戰死

死云華由又公病名及
現說事由公病年月日
貫通鏡創

一 骨 有 無 戰 友 後 退 不 見 有 所

續集
柄の
氏
名

七相違無キコトヲ證明ス

光緒二十三年三月五日

明
親
者

新金部
舊銀部
石部
工部

死に者	後	歴	年月日	昭元六一	六六	比島ニテ著	七二五	昭元六一
			記	下関出港			クニシタケホカ	
			事				戦死後少尉	

186-10

本籍地

所屬部隊 固有名 獨立步兵第五大隊 通稱名 據一個的大部隊

徵集年昭和六年度役種補充兵後兵種陸軍步兵

官等級(昭和二十年五月二十五日發令)氏名

陸軍兵表

年 月 日生

一、死亡年月日時分 昭和五年五月二十五日午前九時二十八分

二、死亡區分及傷病名 戰死

三、死亡場所比集

四、死亡狀況

昭和三年五月二十日午前九時、八公頃比島のカタレサン地帯、於て
地帯大設置所と云ふ一隊民の難難甚しく其の道路を閉鎖し、任々
日近戦訓演習中、軍人機銃隊にて地帯大設置所を敵突撃隊より
撃ち、その位置を掩へ、中其の被弾者破片に敵所傷痕を蒙り、
同三又八公頃比命令するに及り

五、遺骨及遺留品の有無
並に處置（状況）
本人貯金通帳 一冊
印鑑 一個

六、死亡に關する書類の有無

右の通り相違ない事を証明する

昭和二十一年四月九日

元所屬部隊(固有名) 獨立歩兵第三旅

(通稱名) 據某一二六四六部隊

現住所

舊職官等氏名 陸軍軍官

一、死亡者本籍地

二、留守擔當者の住所續柄氏名

朱 兄

右の通り相違ないことを証明する

昭和二十一年四月九日

寫

現認(事實)證明書

本籍地

所屬部隊 固有名氏 昭和五十八年 通稱名氏 昭和五十八年

職年

役種

兵種

官等級(昭和)

年

月

日發令(氏名)

年 月 日生

- 一、死に年月日時分 昭和五十八年 月 日 時 分
- 二、死に原因及傷病名 敗死(胸部被弾)
- 三、死に場所 ルン角
- 四、死に状況 胸部被弾

- 五、遺言及遺留品の有無 遺言(状況)
- 六、死に關する書類の有無

右の通り相違ない事を證明する

昭和五十八年 月 日 元所屬部隊(固有名氏)

(通稱名氏)

現住所

舊職官等氏名

- 一、死に苦痛地
- 二、留守待望者の住所(氏名)

右の通り相違ないことを證明する

昭和 年 月 日

縣

郡

村町市長

印

現認證明書

比島米造蔵茅三三部隊義付
[redacted] 部隊 [redacted] 隊

陸軍兵長
[redacted]

右者昭和二〇年五月二十五日
ルン島バギオ北方ニ於テ

迫撃砲彈大股部依リ戦死(戦死)
[redacted] (コレコトラ現認ス
及頸部貫通)

昭和十一年十一月二日

現認者元比島茅三三部隊義付
[redacted] 陸軍 階級 軍曹

現住所
氏名
[redacted]

- 一、死歿者本籍地留守擔當者

元所屬部隊名

威萊一六六部隊

住所

元宜

氏名印

苑
先

地方世話部慰悼係

考工記

○本表中央印の標以外は第一世諸國にて記入する(付)
○記帳上の注意並に版歴欄は裏面にあり(記帳上の注意をよく讀んでから記入の事)
○不備事項を判明しあるものは各班にて朱筆すること

戰死證明書

死者本籍地

戶主名敬栖 戶主

氏名

年 月 日生

三、所屬國有部族名 比島

振成集团

三、戰死者懷集年九月役種^補役兵積少兵死亡前官等級陸軍三等兵官昭和九年七月一日

四、我花平月日寺廟及新

新往今，報生二二記

此種有端壁者無世

六、陳正憲等，狀況，概要

1

... ..

左列各款

入死區分單子

九、其他

新陳生後家

0. 民族, 現住所

戰死者下(遺骸) 幸

氏名

可ク重ク費セテノタメトモ登明矣也

在()里填上适当的数。

昭和三十一年九月一日

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

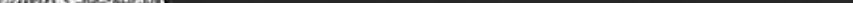
所屬各部
關部
名
大
實
承
遺
振
武
生
南
兵
因
大
路

兵種 官警陸軍軍醫中尉

氏 名

市町村及證明箇所

1860



(continued)

100

100

11

愛知ナイカ

照

死亡證明書

本籍

寄留

死病時住所

死七地

死亡時住所

死七時住所

死七年月日時

死七地滞在期間

死七時住所居住期間

死七事由

戦時中軍人ト同シク行動ヲトリシモ食糧不足タキ赤痢ニカリ死亡

診断書又ハ検案書ナシ理由

戦時中ナレバコソ

方之通り相違ナキコトヲ證明ス

昭和二十三年四月 日

新發田字付ハ

比島 バンバン 山中

軍属

昭和二十年

五月二十五日



旅

江

十日

中より高

入(登)臨

1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 26

人

1

一旅團

10

戰天不戰

數天數

—

陸軍

現説證明書

本籍地
現住地

所属部隊 比島派遣隊 隊員ニシテ 隊長

官等 少佐 陸軍上陸兵

死亡年月日 昭和三年五月二十六日

死亡場所 比島呂宋島クラークフィールド基地

死亡の由 戦病死

死亡の状況 昭和三年五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して

戦死 戦事中五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して戦死

休養中ニシテ 戦中より休養中ニシテ五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して戦死

戦死 戦中より休養中ニシテ五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して戦死

戦死 戦中より休養中ニシテ五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して戦死

戦死 戦中より休養中ニシテ五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して戦死

戦死 戦中より休養中ニシテ五月二十日頃マリ山麓に侵入し日夜殊死して戦死

৬

造

有無	並骨ナシ	並骨ナシ
----	------	------

0	+	.
✓	.	.

三十年
受名

都儿

漢書

○P 楠ノ記 越下才、高確認資料欄、未得限、詳細記入下サイ
病死場所、発病年月日、病名、入院院場、所方明瞭に越下サイ！

死亡在現證明書

昭和二十一年五月十三日

所屬部隊 國有役 第... 威一八九六部隊

本籍地

徵集 昭和五年

種 二補

兵 步兵

死 死

死 死

死 死

死 死

人

死年月日時刻 昭和二十一年五月十三日

死 死

死 死

死 死

死 死

死 死

死 死

死 死

現住

現住

現住

遺

遺

遺

遺

遺

遺

遺

現

現

現

官

官

官

現

現

現

現

現

現

[illegible]

處理

地方世話部 死亡者 認定 票

昭和二十一年 十月 10日

所屬部隊名	國行名	籍地	死亡年月日時	死亡場所	傷病名	氏名	備考
第百四十四令部			20.5.27 午後二時	右肩甲新砲破片創	右肩甲新砲破片創	右現認入	右現認入
種 役	種 兵	種 官	種 死	種 死	種 死	種 死	種 死
前亡死	後亡死	後亡死	後亡死	後亡死	後亡死	後亡死	後亡死
名 氏	名 氏	名 氏	名 氏	名 氏	名 氏	名 氏	名 氏
通稱名	通稱名	通稱名	通稱名	通稱名	通稱名	通稱名	通稱名
停年名稱頁	停年名稱頁	停年名稱頁	停年名稱頁	停年名稱頁	停年名稱頁	停年名稱頁	停年名稱頁
認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定
點檢	點檢	點檢	點檢	點檢	點檢	點檢	點檢
官階	官階	官階	官階	官階	官階	官階	官階
等級	等級	等級	等級	等級	等級	等級	等級
決 制	決 制	決 制	決 制	決 制	決 制	決 制	決 制

認

戰死證明書

一、死者本籍地

巨主名續柄 巨主

氏名

年 月 日生

所屬 通關 科部 部 姓名 比島 島 派通 鐵 第五 四七 部隊 本部

三、已死者敬告 年 大正 年 15 年 10 月 10 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月時刻及場所 昭和二十年五月二十七日 呂宋ハタケスカタ洲田五郎

五、死亡現認程度 程度 確度 甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸

有無

[illegible]

再發竝焚衰弱

[illegible]

昭和 年 月 日

其ノ他 不明記入 (市立サレバ上陸年月日及上陸地)

原武族之現住所

戰死者(下) 無柄 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年一月十一日

證明者生所

原用部之關係

兵種步兵官等陸軍曹長

姓名

北京電影研究所

1990

歌

55

2

100

100

100

111

[illegible]

這

戦病死者証明書

戒一〇六四部隊

殿

右ニ者拙者戦友ニシテタンカトン陣地ヨリタラヲ陣地ヘ行軍中昭和三年五月二十七日カシケニテ病死セシコトヲ相傳之無証明致候也

昭和三年二月五

地方支那部

認定係殿

也ノ世舌部

戦死者確認(證明)書

一 死没者所属部隊名(通稱)

一 徵集年

一 官 階(死没前)

一 氏 名

一 死没場所

一 死亡原因(死没事由)

一 死没年月日時

一 死没者本籍地(留守地)

右確認(證明)ス

昭和二十年九月一日

元 籍 地

現 住 所

元 職 務

氏 名 印

証 人

地方世話部書記

(註) 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ詳細ニ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナラズ者ハソノ後ワシク知ラセテヤ

証 人

地方世話部書記

現認證明書

本籍地	現住所	所屬部隊	官氏名	死亡場所	死亡區分	死亡日時	死亡傷(病)名	留守擔當者住所	續柄氏名
[Redacted]	右二同じ	才四航空軍独立中七機園破隊	陸軍上士	サニタマリヤ	戦死	昭和二十一年五月二日	頭部肋骨貫通(砲弾)	現任新二同じ	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

右證明

する

現認者住所

昭和二十二年

月

日

元所屬官氏名

才四航空軍独立中七機園破隊付

[Redacted]

籍地
他部隊

昭和七年五月日

死之場所

老之と分

傷(病)名

死時状況

現認證明書

昭和七年五月日

時

此島ルリシ島
ブダアス

大腸出血

マリアア多脚の海に併走しオレテ漸時死後近リ

アレガ食事を不攝王ニ引込ニ増悪シ五月十八日

劇死セリ

昭和七年三月三十日

現住所

現認者

威一六三三部隊

昭和七年五月日

氏名

印

本籍地	所屬部隊	官等職氏名	發病場所	受傷年月日	傷病死	死亡場所	死亡區分	死亡年月日	摘要
	威第ニ七六ニ四部隊	陸軍上等兵	呂宋島			呂宋島	戰病死	昭和三年五月十八日	右確認したることを證明す 昭和三年五月十八日 現職者
									現住 所屬部隊 威第ニ七六ニ四部隊 官氏名 陸軍大尉

57-10

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 比島 通威 威一三三部隊
 二、徵集年 昭和八年 役種 補充兵 兵種 歩兵
 三、官 等(死歿前) 陸軍一等兵(死歿後)

一、氏 名

年 月 日生

一、死歿場所

比島 南部ルン マンヨ (戦死)

一、死亡區分並ニ事由

敵機中絶 通威部隊 (戦死)

一、死歿年月日時間

昭和二十年 五月 二十八日

一、死歿者本籍地留守擔當者

右確認(證明)ス

昭和二十年 三月 六日

元所屬部隊 比島 通威 威一三三部隊

現住所

元官等級 陸軍一等兵

氏名印

(註)

死亡理由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ。

右相違ヲキエトテ證明ス

宛先

地方世話部認定係

昭和二年七月一日

死亡現証明書 昭和二年七月一日 調製		所属部隊 國有軍 野戦歩兵連隊 第一師団 第六聯隊		本籍地 〔隠蔽〕		死亡前階級 陸軍上等兵		氏名 〔隠蔽〕		海軍官田 ナシ		現証事由 敵機攻撃による戦死		事由		注意 一 現証理由は詳細に記す 一 本職明書は必ず三行に記す 一 階級は必ず死亡前と記す 一 死亡区分は戦死の時は要領に記す 一 死亡場所 病名 要領年月日と記す 一 死亡場所 死亡区分及び月日は確度正確の時甲 概ね確實な時乙と記す 一 死亡時月丙と其の下に記す					
死亡場所 ハルビン 莫ニルン 東方		死亡年月日 昭和二年五月二十八日 九時		死亡区分 戦死		受傷箇所 〔隠蔽〕		病名 コレラ		要領年月日 二十五年五月二十五日		元所属部隊 野戦歩兵連隊 第一師団 第六聯隊		本籍地 〔隠蔽〕		現住所 〔隠蔽〕		階級 氏名 陸軍伍長 〔隠蔽〕		氏名 の下に必ず印を押す	

戰病死證明書

昭和 年 月 日

[illegible]

死亡現認書				昭和	年	月	日
死者	本籍地	[REDACTED]					
	現在所	金谷園					
	所属部隊名	独立自動車隊第一工部隊 [REDACTED]					
	官職氏名	陸軍兵衛 [REDACTED]					
	死亡年月日時	昭和五年五月二十日 (確度 乙)					
	死亡場所	ルンビエンアリアン (確度 乙)					
死亡区分	戦死	死亡事由	全身爆創				
		備考(年月日)					
遺骨、遺品の状況	なし						

右現認す

現認者 本籍地 [REDACTED]
 現住所 石金
 死没者との関係 分隊長戦死、分隊長後援として死に
 所属部隊 独立自動車隊第一工部隊 [REDACTED]
 官職氏名 陸軍兵衛 [REDACTED]

記載上の注意

確度は甲(確實)、乙(概ね確實)、丙(疑はしきもの)の区分で記入する
 死亡事由には何れも貫通銃創、或は「アリアン」「ゲッス」等の病名を記入する
 備考欄には中、小隊長、分隊長、戦友等記入する

圖書

年集
種
種

脫之予賴

上年告

名天

1149

本籍地

守擔當者

住并無氏名

文

死亡年月日

54
20
5
28

45
2

死亡場所

[illegible]

死亡二分

張	孔	心度	學
---	---	----	---

癰疽疔瘡

山陰縣志

遺精遺尿

U		

野野一 至に付葉(確)現

右現(進)認寸百

昭和三年七月九日

旧所屬

官等

死者の涙

往所

氏名及捺印

[REDACTED]

[REDACTED]

略

中身是也

以八八一
命一第

以九六一
命一第

以九二七
命一第

以九三八
命一第

以九四一
命一第

以九五二
命一第

以九六三
命一第

以九七四
命一第

以九八五
命一第

以九九六
命一第

以一〇〇七
命一第

以一〇一八
命一第

以一〇二九
命一第

以一〇四〇
命一第

以一〇五一
命一第

以一〇六二
命一第

以一〇七三
命一第

以一〇八四
命一第

以一〇九五
命一第

以一〇六六
命一第

以一〇七七
命一第

以一〇八八
命一第

以一〇九九
命一第

以一〇一〇
命一第

15-11

[illegible]

比島洲遊威第一五五五部所
上 一 色 名 土 座 一 日 昭 板 壬 年 十 月 十 日

[illegible]

二
三
四
五
六
七
八
九

比島洲並威第一五五部

上
小
也
名
土
屋
昭
和
三
年
十
月
二
十
日

[illegible]

15-13

15-12

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明

昭和二十二年

現認者住所

元所屬官氏名

比島收退威一五三二部隊陸軍中將

威一五三二部隊(マラ陸軍航空隊)

(死亡前)

(軍名)

病死

昭和二十二年五月二十九日

マラリヤヒ大腸カタル

同の移送道路(軍作放棄)の一の谷

①

8-11

事實(現認) 死亡 證明書

本籍地

所屬部隊

(通緬縣)

役種徵集年

官等級氏名

陸軍少長

右ノ者

昭和二十年五月二十九日

戦死ニ於テ戦死(按:爆撃機)

昭和二十年十一月二十四日

証製官

(現認者)

陸軍曹長

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 成東一ノ八部隊
- 一、集年 昭和三十四年 春 補欠 兵 補欠
- 一、官等(死歿前) 一等兵 (死歿後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 北都ルン新バカグ
- 一、死亡区分並ニ事由 ヤラヤラ 成病死ス
- 一、死歿年月日時 昭和三十一年 五月 九日 午前
- 一、死歿者本籍地留守担当者 [Redacted]

年 月 日生

右確認(證明)ス

昭和三十一年 四月 二十日

元所属部隊名 成東一ノ八部隊
現住所 [Redacted]
元官等 陸軍上等兵
氏名印 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナルベクヲシテ、特ニ終戦後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ
タラシク告知ラセ下サイ

宛 先

地方世話部 慰恤係

一、死亡者所屬部隊名
固有各才一三五飛行場大隊
一、徵集年（任官年）役種
現兵補米昭和十六年徵集
一、死亡者公葬地

一、死亡者所屬部隊名

國有各才一三五飛行場大隊
通器號威一八四六部隊

一、徵集年（任官年）役種兵補米招補十六年徵集

一、死亡者公葬地

一、官等級（發令年月日）

死亡 前 後 事

一、聯合月刊昭示二

死亡後歸重者

丁氏 名 年 月 日

一、死亡年月日時、死亡處所

宣統元年五月

三
日
午

時分
熟記

一、死亡場所

林リン恩

474

ル
カ
コ
ン
ト
ク
ア
ラ
フ

一、死亡原因

傷病死に至りては特病及び毒傷
年月日入院年月日及び病状況

カリヨシ下附近ニ於テ義車肉改班員

一、遺骨遺留品之狀況

燬碎_ニ依_リ不明ト推_ス是

行到所止五後戰死

右
確
認
證
明
書

現任所
元朝國師名
成吉思汗之部族

任
內

元學叔氏名

復員年月日 上區地 昭和26年11月8日 九州加治木上

九州加治木上

18-10

右現認
死七區命
死七場所
死七年月日
本籍地
部隊名
官等氏名

本籍地

部隊名
官等氏名
陸軍大尉

昭和二十年五月三十日
戦死
第11師団
第1旅団
第1大隊
第1中隊
第1小隊
第1班
第1組
第1員

陸軍大尉

陸軍大尉



























鄧陳
寶壽氏

八十九飛尺

一、

五
年
月

20
5
30

天亡

北条 龍子島

死七區分

對北

九
五
經
由

新还

右

此

現款希 李鴻章

八十九行場入

大正

131-19

親

總

親

部隊名
官等氏名

八十九飛大

上等兵

年月日

20 5 10

場所

北平ハソソ島

死亡

戦北

死亡

斬込

右親

現視者

部隊名 八十九飛行場大隊

官等氏名

仲佐長

1327/1

現
認
出

審
判
地

部
隊
名

實
事
氏
名

年
月
日

場
所

區
分

理
由

現
認

大

現
認

大

現
認

八
十
九
飛
大

兵
長

20
5
30

北
部
ル
ン
島

戰
死

斬
込

大

大

大

大

大

現

今指地

証原不

官等氏名

昭和

北却

死亡場所

死亡区分

死亡理由

頂認者

本籍地

部隊名

官等氏名

第八十九飛行場大隊

一等兵

昭和三十九年五月三十日

北却

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

死亡

2.15

交付

1.8.5-12

戰時死之者悲也

貢仕者印

地方自治部	死亡者認定票	昭和	年	月	日	調製
所屬固有名	馬尾利彦 中一補給隊	通稱号	成瀬	五月三十一日	新録	
本籍地	[Redacted]	氏名	[Redacted]	生	[Redacted]	
軍役	兵	官死上	氏名	明治	[Redacted]	
死亡年月日時	昭和三年三月五日午前一時	死亡場所	ルン南東海岸、ウビライ	原病名	胸膜炎	
死亡原因	戦死	現住所	[Redacted]	氏名	[Redacted]	
遺骸所在	[Redacted]	備考	[Redacted]	姓名	[Redacted]	
留地	春田	料定額	西	手人	堀	

9-11

事實(現認)證明書

所屬部隊

國有部隊名

陸軍航空隊

通稱・職名

成第一五三一部隊

官職氏名(死亡前)

陸軍航空隊上士

本籍地

現住所

令

右

右ノ者昭和二十年五月二十日

不時

時分

ルノ島中ノ戦死ニ於テ戦死シタルコトヲ證明ス

昭和二十年

五月二十日

國有部隊名

陸軍航空隊

通稱・職名

本籍地

現住所

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 第一〇三九部隊
- 一、戦年 昭和五年 役職 兵 兵種 歩兵
- 一、官階(死後) 上等兵 (死後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 [Redacted]
- 一、死亡区分並ニ事由 [Redacted]
- 一、死歿年月日時 昭和五年 五月 三十日 不詳
- 一、死歿者本籍地留守担当者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和五年五月二十日

元所属部隊名

第一〇三九部隊

現住所

[Redacted]

元官階

上等兵

氏名印

[Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲハシテ知ラセ下サシ

宛先

地方世話部 関係係

死亡現認證明書

死

所属部隊名 独立混成第五旅團 大隊 隊
官等氏名 陸軍軍曹
不 籍 地

死亡年月日 昭和二十年三月三十日

死亡原因 戦病 敗 脚氣

死 亡 場 所 比島北部ハ、ニハヤリ前東方三八

傷 病 心 マラリノ脚氣

遺骨遺物等状況

著 現 認 事 由 患者、敗害中死之

證明年月日

現 認 所 屬 部 隊 名 独立混成第五旅團本部軍医部

認 官 等 氏 名 元陸軍衛生部長

著 現 認 所 屬 部 隊 名

記載上の注意

昭和二十年三月三十日、比島北部ハ、ニハヤリ前東方三八、戦病、敗害中死之。遺骨遺物等状況、心マラリノ脚氣。證明年月日、昭和二十年三月三十日。現認所屬部隊名、独立混成第五旅團本部軍医部。認官等氏名、元陸軍衛生部長。著現認所屬部隊名、記載上の注意。

43-17

戦死者確認(證明)書

一、死没者所属部隊名(通稱) マニラ陸軍航空廠第一修理廠

二、徵集年 昭和十四年 役種 第一補充兵 兵種 歩兵

三、官 等(死没前) 上等兵 (死没後)

四、氏 名

五、死没場所 マニラタバカル

六、死亡区分 戦死

七、死没年月日時 昭和二十年五月三十一日

八、死没者本籍地留守遺属者

右確認(證明)ス

昭和二十年八月十九日

元所属部隊 第一五三二部隊第一修理廠

現住所

元官等級 兵長

氏名印

(註) 死亡事由、場所(ナルベクワシタ特ニ戦後ノ死亡ハ明ニ、生死不明ニナラズハソノ證據ヲワシタオ知ラセドイ

宛先

.....

本籍

新島部隊 戦死 陸軍 戦死 前 上 兵 (要一三三三三)

役種 兵種 年次

現砲 砲一七

年月日

死亡年月日時

昭和二年三月

三月

同 場所

北ノ島 1402

昭和二年三月

同 區分

戦死

昭和二年三月

遺骨の有無

不明

昭和二年三月

遺族の現在所

不明

昭和二年三月

右相違無キコトヲ證明ス

昭和二年三月

昭和二年三月

昭和二年三月

昭和二年三月

昭和二年三月

現認者

階級氏名

昭和二年三月

昭和二年三月

昭和二年三月

昭和二年三月

死亡者	氏名	年次	死亡年月日時
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402
戦死	北ノ島	昭和二年三月	1402

194-11

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

昭和十八年五月五日 武集園秋多園司

現認證明書

威一七六六九部隊 籌畫方面學教育隊

外科甲種幹部候補生

舊地

死之年月日 昭知二十年正月三十一日

死之區分一戰死

死に場所……
ブルン島
セタフ

傷病各腹部碰彈破片創

遠東時報
十

現謀事由

戰車軍威敵軍更下之陣地配備中該陣地一時シテ空
砲雨落リテ吾人所屬中隊ハ全滅ス

證明年月日

右ノ旨ヲ謹明スル
昭和二十二年三月二十日

所屬部隊

第十四方面軍教育隊

正學錄

陸軍大尉

名
姓
姓

紀載上，莊貴

[illegible]

三

右證明致
民國 年 月 日
證明者 米谷處
居住所
新島縣 三好防衛司令部勤中隊
官 等 七 下 兵
附記 本證明係由
氏 名

王明

卷之四

卷五

母 臣 臣 臣

10

認 證 邪 惡 之 子
 乘 機 搶 劫